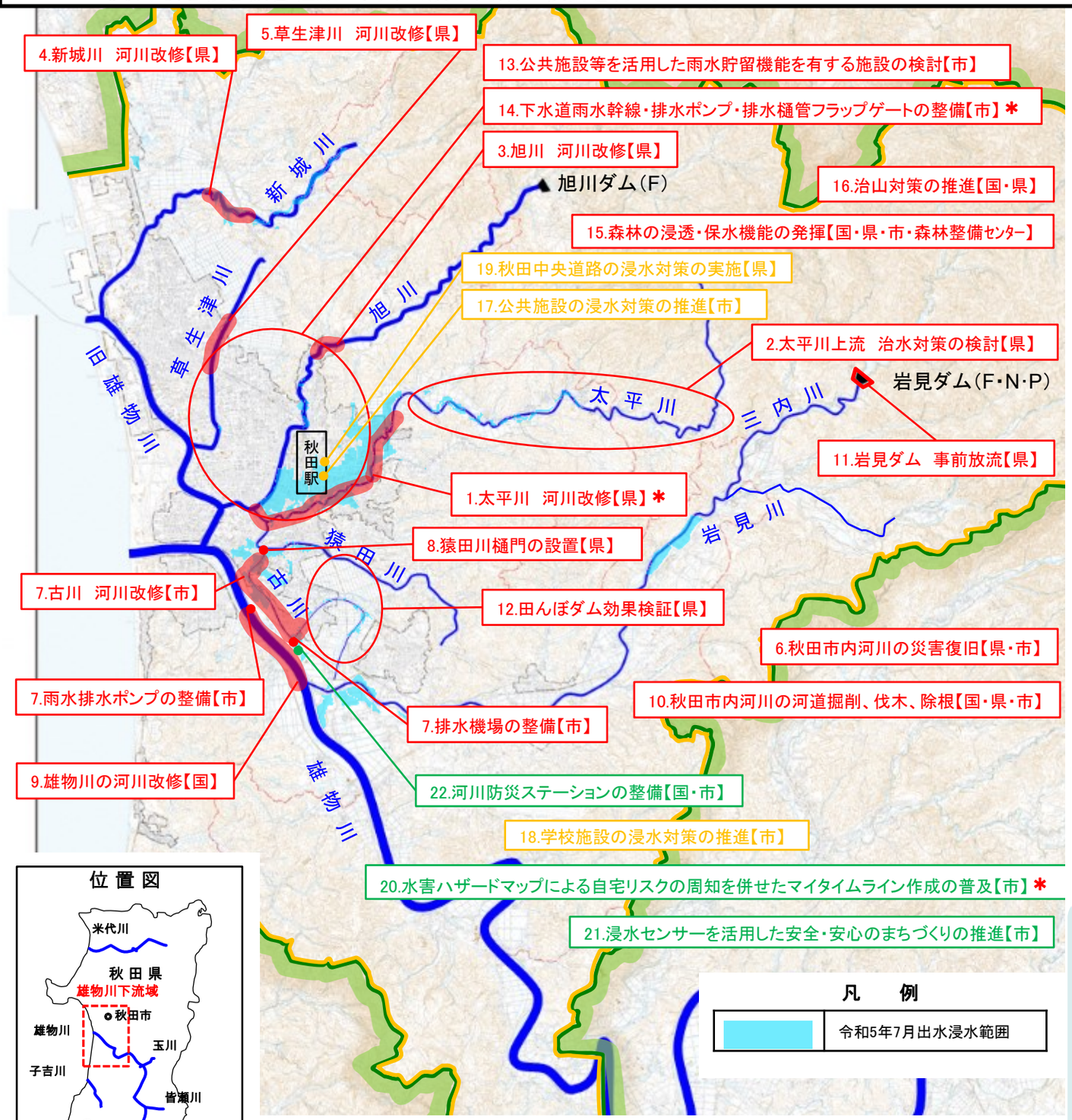
雄物川下流圏域　水災害対策プロジェクト

～流域のあらゆる関係者が一体となった、安全で安心が確保できる治水対策の推進～

R8.3.11更新

○　令和5年7月15日からの大雨により、太平川の越水をはじめ秋田市街地の大規模浸水被害が発生したことから、雄物川下流圏域では、国、県、市等が連携し、以下の対策を実施する。

- 国は雄物川の河川改修、県は太平川、岩見川等の河川改修、災害復旧の対策を集中的に実施するとともに、秋田市は下水道の整備や浸水対策の検討を行い、令和5年7月と同規模の大雨による浸水被害を大幅に軽減する。
- これらの推進を図るため、内水被害等軽減対策計画（新規施策）に、太平川の河川改修や下水道施設の雨水幹線、排水ポンプ、フラップゲートの整備、ソフト対策等を位置付け、治水対策等の加速化を図るとともに、「流域治水」の深化に向けて、特定都市河川制度（特定都市河川の指定）を活用した取組を推進していく。
- なお、引き続き被害軽減に向けて浸水対策の検討を行っていく。



＊内水被害等軽減対策計画に位置付け、治水対策等の加速化を図ります。
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

■事業期間　令和5年度　～　令和14年度
■事 業 費　約671億円【国：約13億円、県：約417億円、市：約241億円】
※このほか、費用が確定した段階で、事業費に追加になります
※事業費については今後変更となる可能性があります
■目　　標　令和5年7月と同規模の大雨による浸水被害を大幅に軽減

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○河川区域での対策
1.太平川の河川改修【秋田県】＊
2.太平川上流　治水対策の検討【秋田県】
3.旭川の河川改修【秋田県】
4.新城川の河川改修【秋田県】
5.草生津川の河川改修【秋田県】
6.秋田市内河川の災害復旧【秋田県・秋田市】
7.古川の河川改修や排水機場等の整備【秋田市】
8.猿田川樋門の設置【秋田県】
9.雄物川の河川改修【国交省】
10.秋田市内河川の河道掘削、伐木、除根【国交省・秋田県・秋田市】
11.岩見ダム事前放流【秋田県】
○集水域での対策
12.田んぼダムの効果検証【秋田県】
13.公共施設等を活用した雨水貯留機能を有する施設の検討【秋田市】
14.下水道施設の雨水幹線、排水ポンプ、フラップゲートの整備【秋田市】＊
15.森林の浸透、保水機能の発揮【林野庁・秋田県・秋田市・森林整備センター】
16.治山対策の推進【林野庁・秋田県】

■被害対象を減少させるための対策

○氾濫域での対策
17.公共施設の浸水対策の推進（エレベーター施設等）【秋田市】
18.学校施設の浸水対策の推進（受変電施設、空調室外機等）【秋田市】
19.秋田中央道路の浸水対策の実施【秋田県】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○氾濫域での対策
20.水害ハザードマップによる自宅リスクの周知を併せたマイタイムライン作成の普及【秋田市】＊
21.浸水センサーを活用した安全・安心のまちづくりの推進【秋田市】
22.秋田地区河川防災ステーションの整備【国交省、秋田市】

令和5年7月大雨による浸水被害状況


古川沿川の住宅地（大住地区）


太平川沿川の県道秋田昭和線（城東十字路付近）

更新

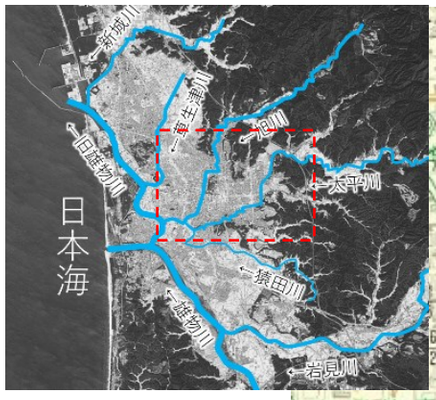
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

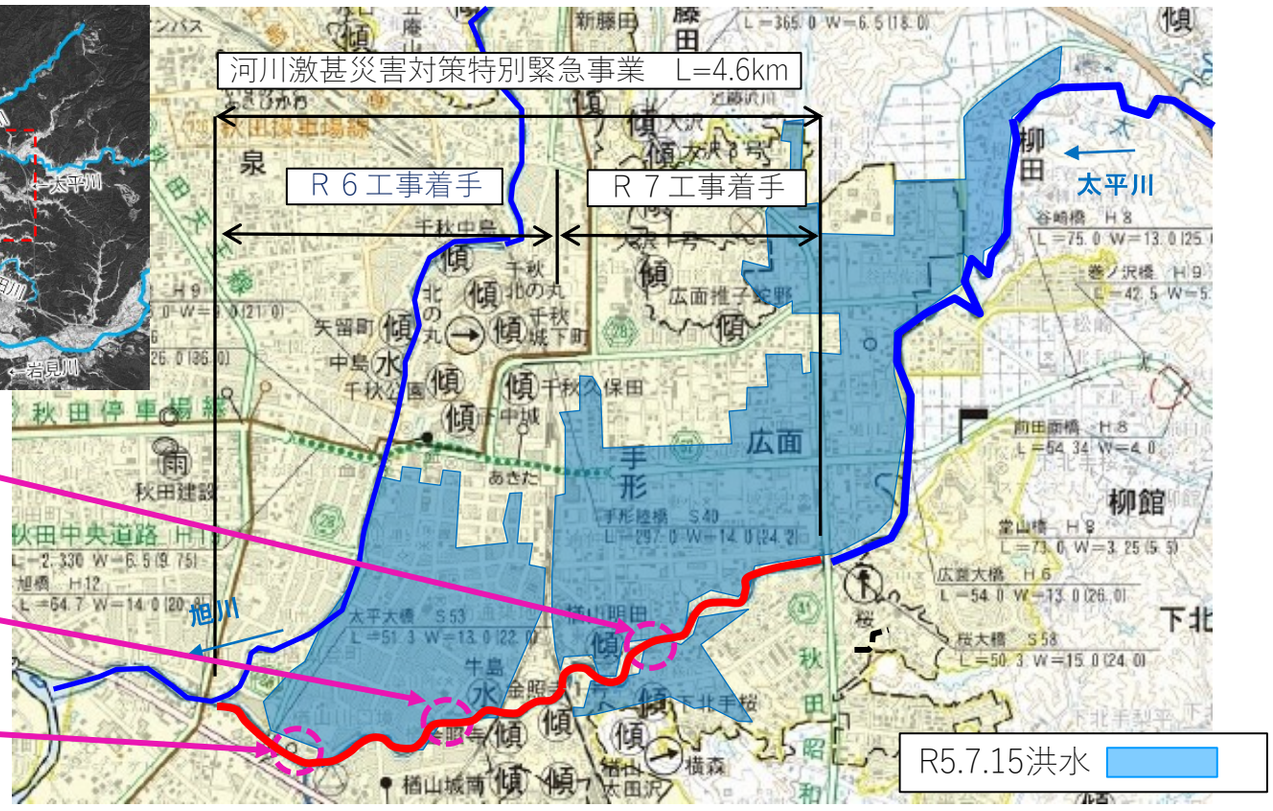
雄物川下流圏域
水災害対策プロジェクト

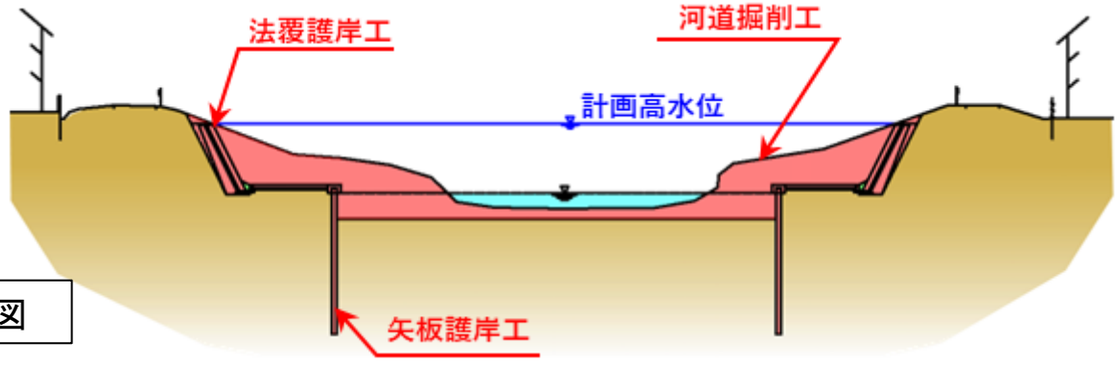
1. 太平川の河川改修①　【秋田県】

河川激甚災害対策特別緊急事業

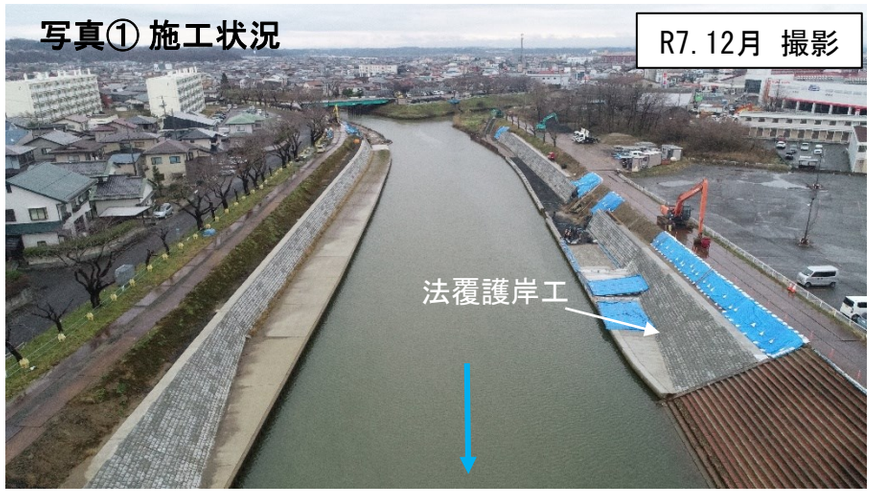
■目　的：川の中の土砂を除去して洪水時の水位を低下させる(河道掘削工)。
　　掘削後の法面保護のため、護岸を設置する(法覆護岸工等)。
■内　容：事業延長4.6km(旭川合流点～桜大橋付近)
　　令和７年度上流区間約2.3kmの工事に着手　→　全区間工事着手
　　令和１０年度完了予定
■期　間：令和５年度～令和１０年度
■事業費：１９５億円



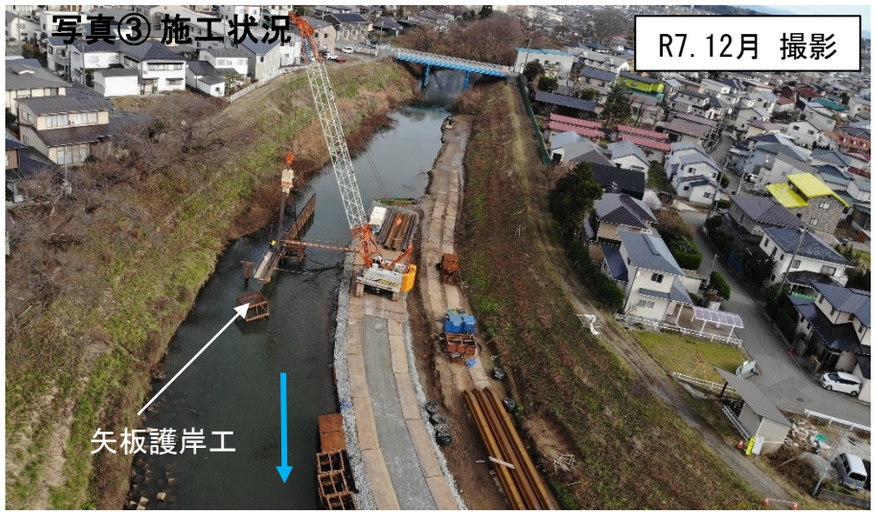




標準横断図







氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

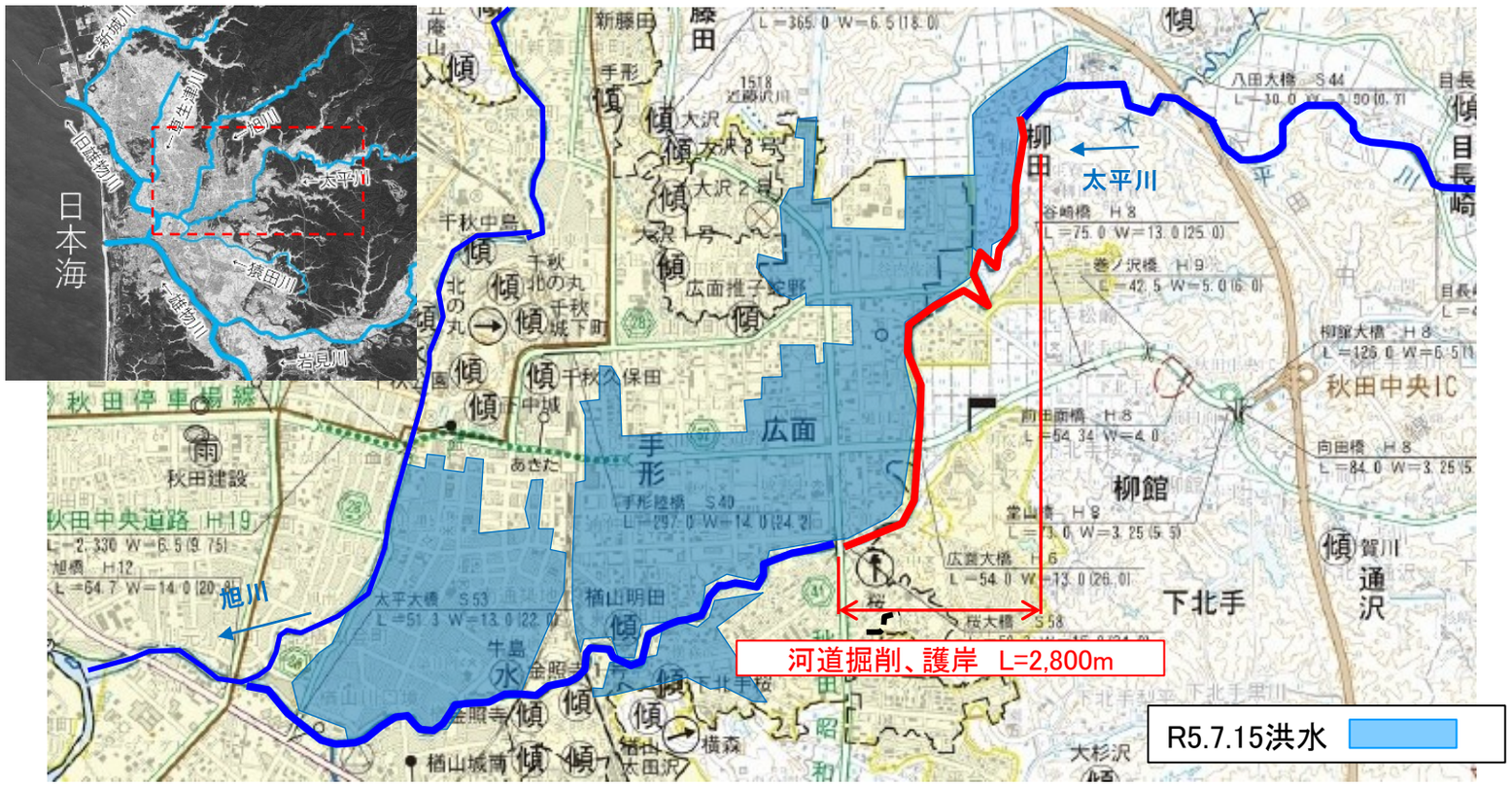
雄物川下流圏域
水災害対策プロジェクト

1. 太平川の河川改修②　【秋田県】

・延長2.8km（桜大橋付近～新竹生橋付近）において、川の中の土砂を除去して洪水時の水位を低下させます。また、掘削後の法面保護のため、護岸を設置します。

［治水安全度］現況：未改修　⇒　整備後：1/20

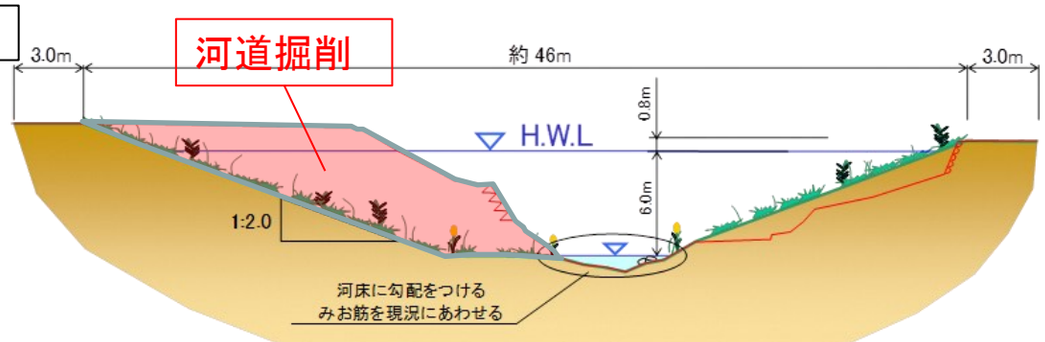
※内水被害等軽減対策計画に位置付け、治水対策の加速化を図ります。



■事業内容：河道掘削、護岸等
■事業期間：令和5年度～令和14年度
■事業費　：165億円
（広域河川改修事業）
※事業費については今後変更となる可能性があります。
■施行地　：秋田市広面ほか


太平川氾濫箇所付近の市街地の状況

太平川整備計画断面図




太平川外水氾濫状況

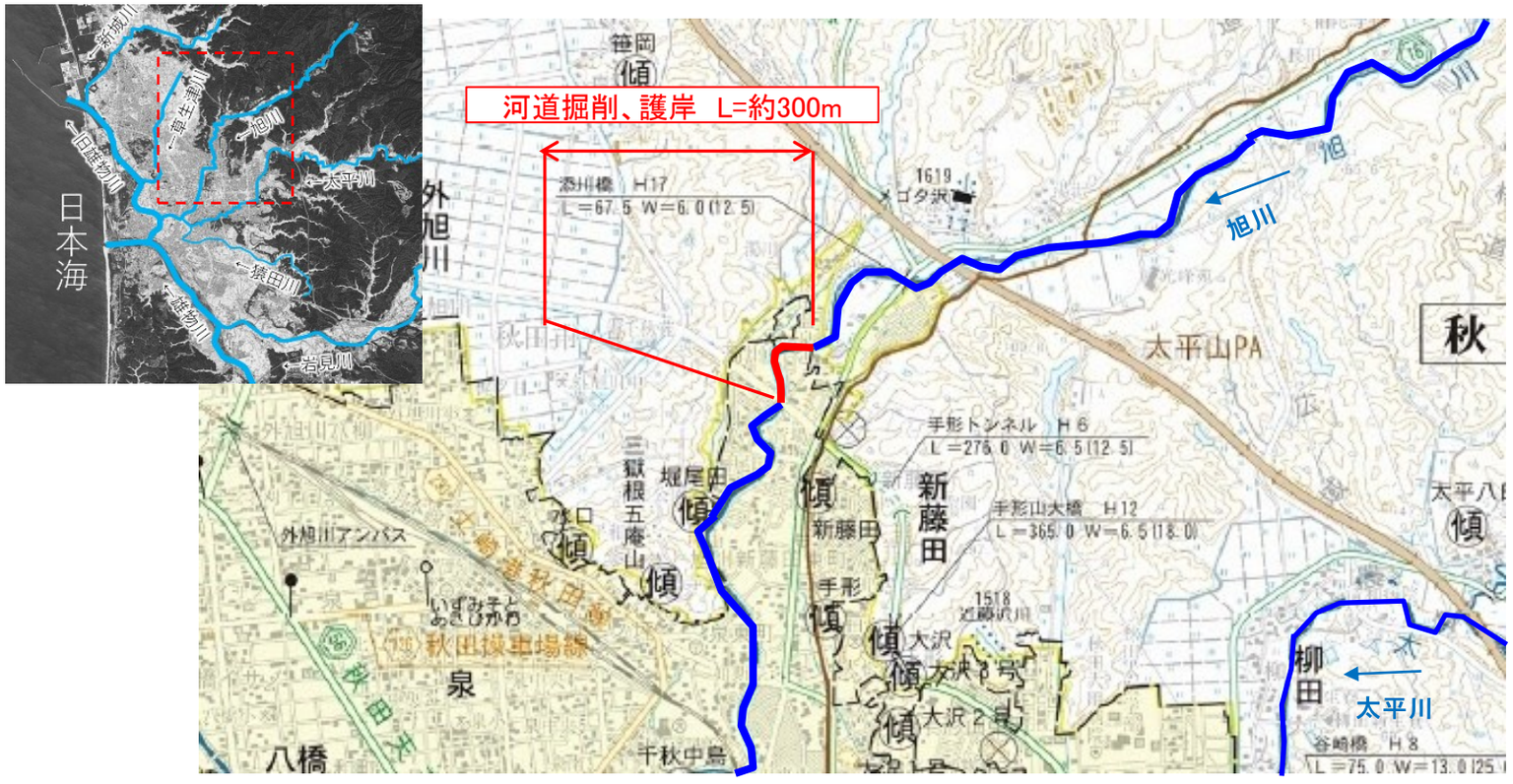
具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雄物川下流圏域
水災害対策プロジェクト

3. 旭川の河川改修　【秋田県】

・延長約0.3km（濁川橋上流付近）において、川の中の土砂を除去して洪水時の水位を低下させます。また、掘削後の法面保護のため、護岸を設置します。
［治水安全度］現況：未改修　⇒　整備後：1/20

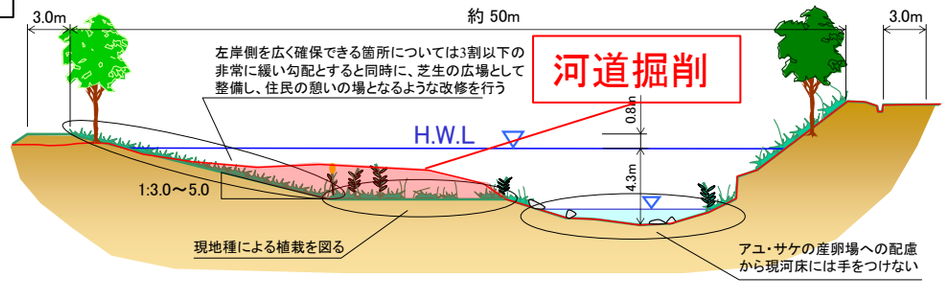


■事業内容：河道掘削、護岸等
■事業期間：令和5年度～令和7年度
■施行地　：秋田市濁川

旭川増水状況



旭川標準断面図



旭川増水状況



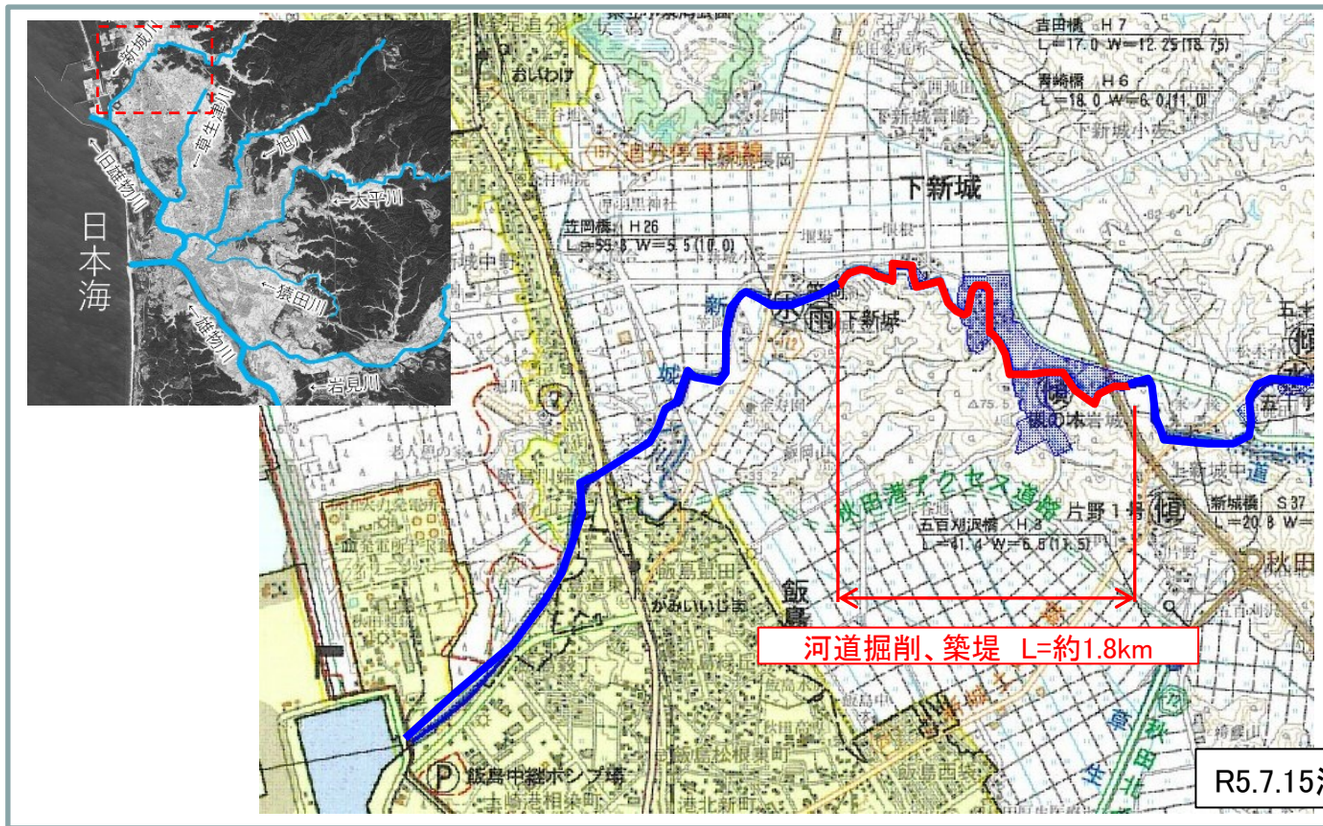
具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雄物川下流圏域
水災害対策プロジェクト

4. 新城川の河川改修　【秋田県】

・延長約1.8km（笠岡橋上流～秋田自動車道交差付近）において、川の中の土砂を除去して洪水時の水位を低下させるほか、堤防の高さが低いところは嵩上げをします。
［治水安全度］現況：未改修　⇒　整備後：1/2（流せる量を約３倍にします）



■事業内容：河道掘削、築堤等
■事業期間：令和5年度～
■施行地　：秋田市下新城笠岡ほか

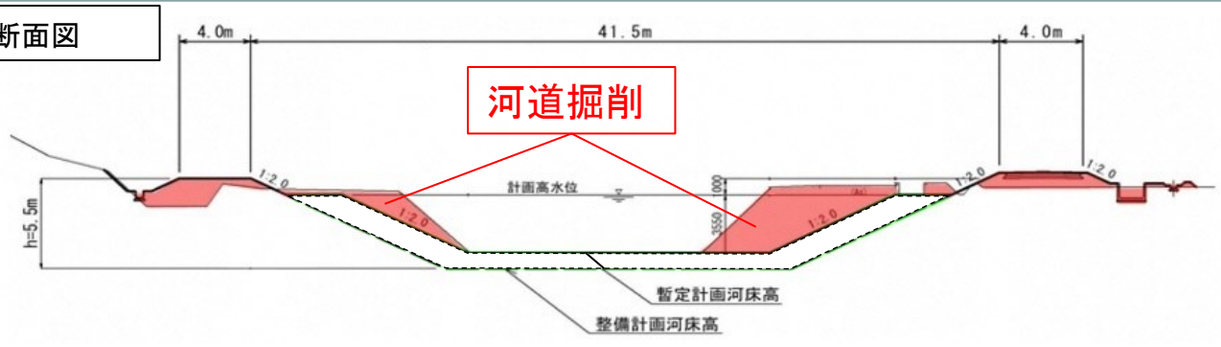
新城川浸水状況



新城川浸水状況



新城川標準断面図



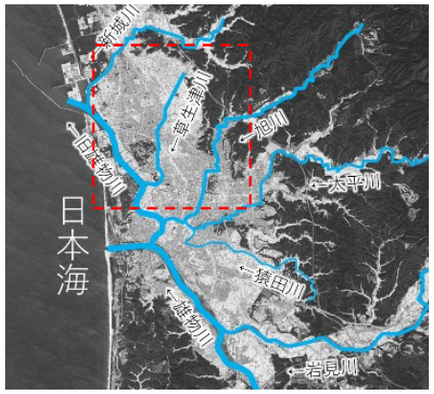
具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

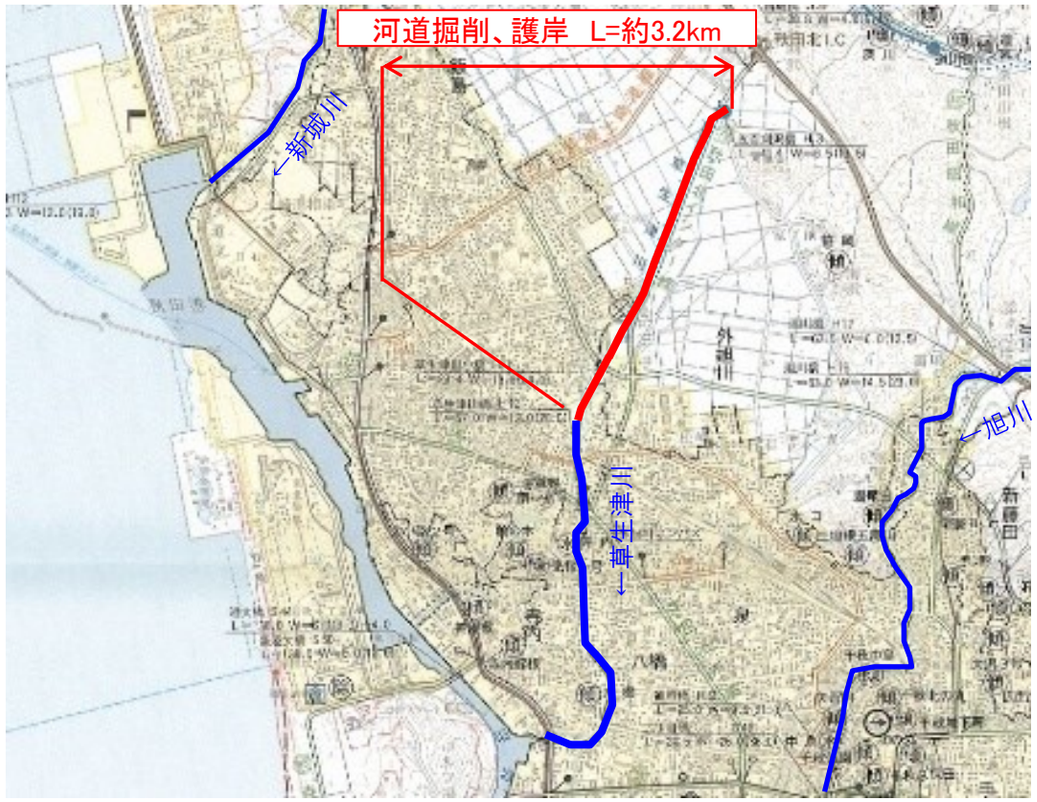
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雄物川下流圏域
水災害対策プロジェクト

5. 草生津川の河川改修　【秋田県】

・延長約3.2km（外旭川新橋～五百刈沢橋）において、川の中の土砂を除去して洪水時の水位を低下させます。また、掘削後の法面保護のため、護岸を設置します。
［治水安全度］現況：未改修　⇒　整備後：1/10





■事業内容：河道掘削、護岸等
■事業期間：令和5年度～
■施行地　：秋田市外旭川ほか

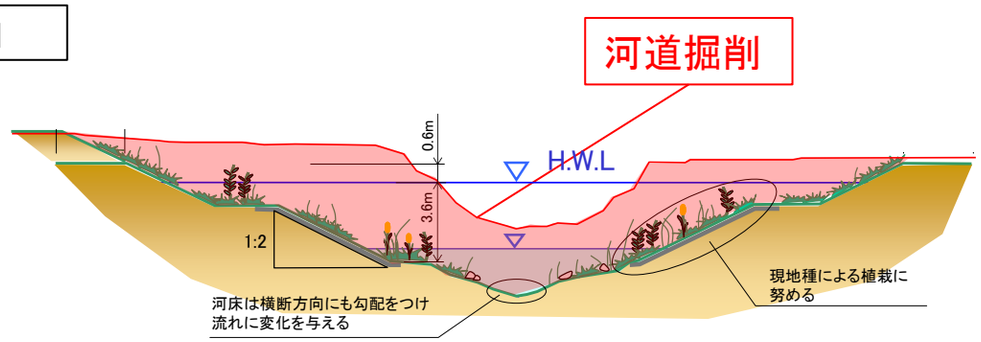
草生津川沿道路冠水状況



草生津川増水状況



草生津川標準断面図



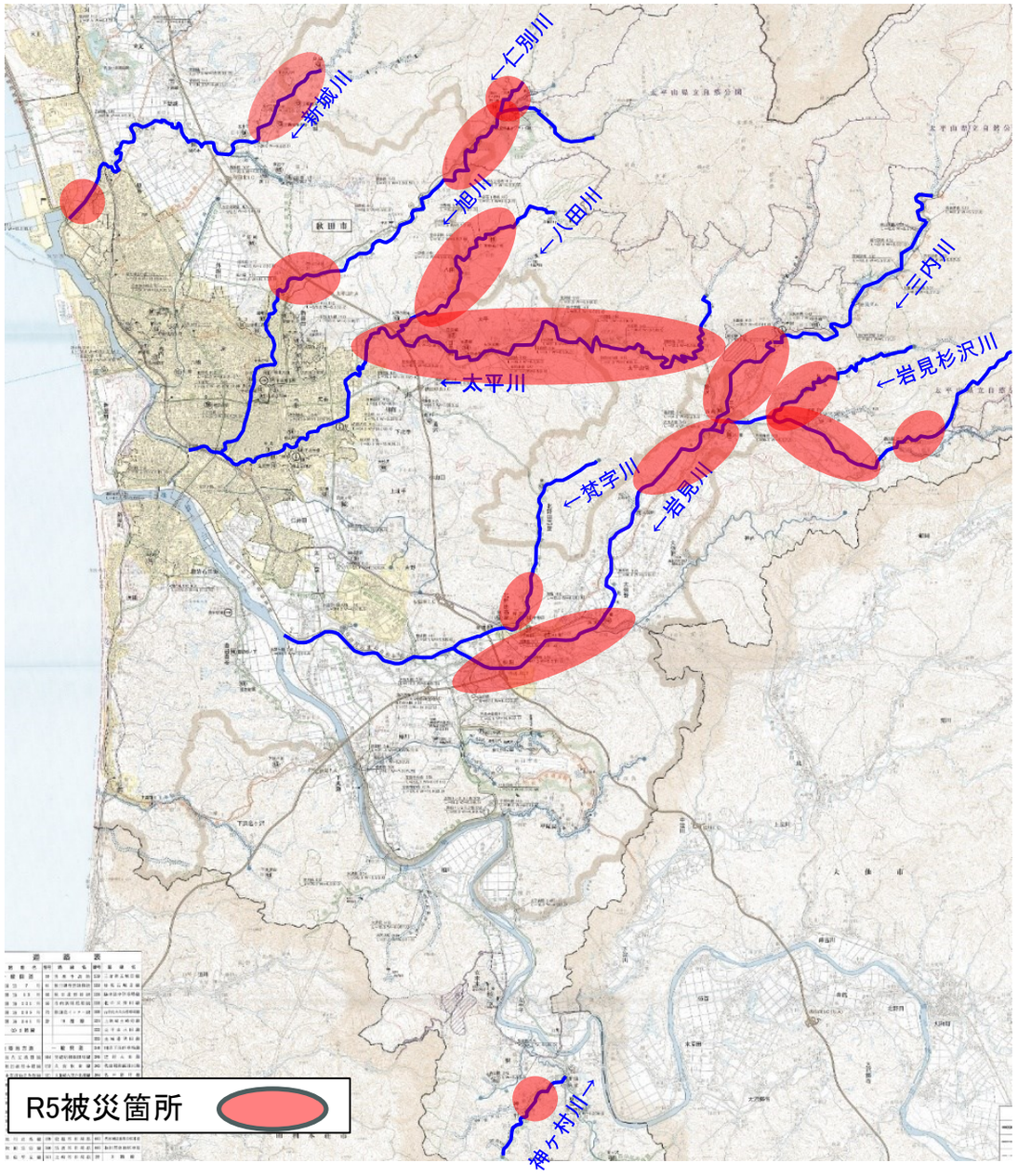
具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雄物川下流圏域
水災害対策プロジェクト

6. 秋田市内河川の災害復旧　【秋田県・秋田市】

・令和５年７月１５日からの大雨により、被災した河川管理施設の復旧工事を行います。



被災河川名	被災箇所数
新城川	4
旭川	6
八田川	7
太平川	28
三内川	3
岩見杉沢川	3
岩見川	18
梵字川	2
神ヶ村川	1
仁別川	1
計	73

災害復旧イメージ

被災　川岸が洗掘崩壊



復旧　新たに護岸を整備



＊国交省HPより

■事業内容：築堤、護岸等
■事業期間：令和5年度～令和6年度
■事業費　：秋田県50．5億円
　　秋田市　0．2億円
　　（災害復旧事業）
■施行地　：秋田市河辺三内ほか

岩見川被災状況



太平川被災状況



更新

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

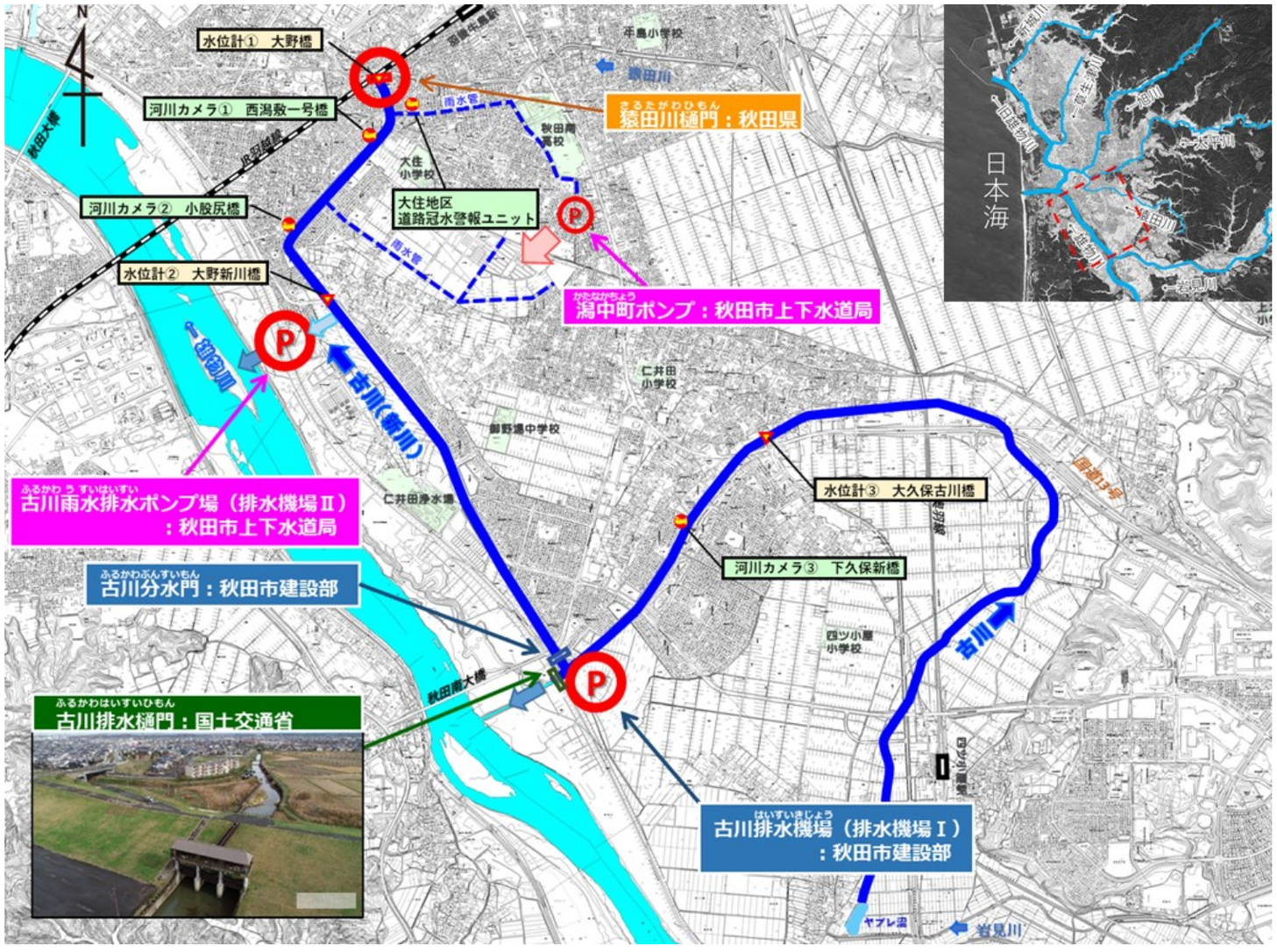
雄物川下流圏域
水災害対策プロジェクト

7. 古川の河川改修や排水機場の整備【秋田市】

・古川沿川において、内水を強制的に河川へ排水する排水ポンプを整備し、また川の中の土砂を除去して洪水時の水位を低下させ、家屋浸水被害の軽減を図ります。

■事業内容：河川改修、排水機場等の整備
■事業期間：令和2年度　～　令和8年度
■施行地　：秋田市仁井田ほか

・過年度に引き続き、R6年度も河道掘削を実施。
・古川排水機場は、令和8年度供用開始予定。
・古川雨水排水ポンプ場は、令和9年度供用開始予定。



古川（仁井田字新中島付近）河道掘削状況写真





古川雨水排水ポンプ場（仁井田新中島付近）整備状況写真（R7．9）



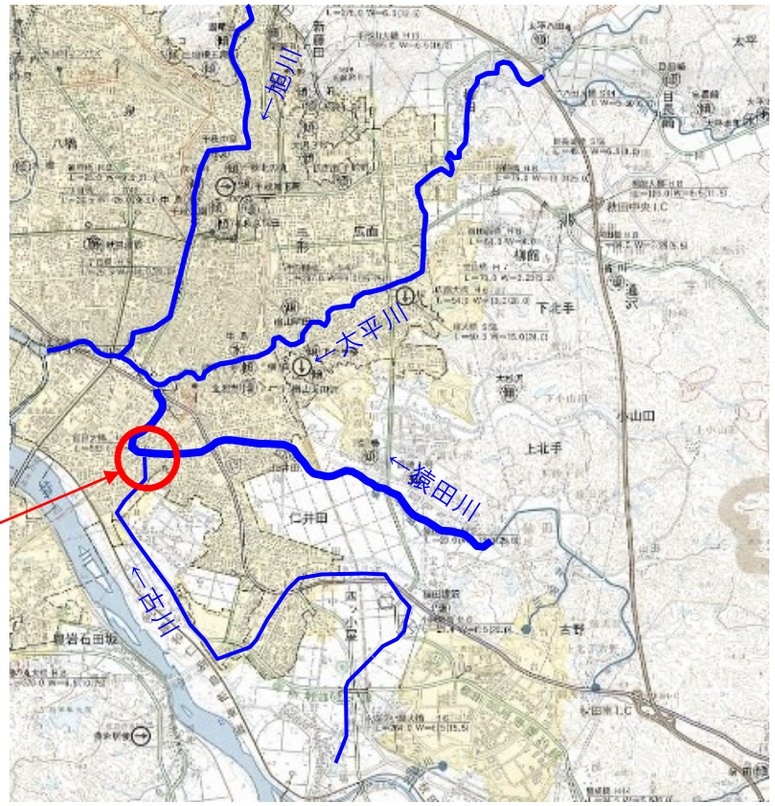
具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雄物川下流圏域
水災害対策プロジェクト

8. 猿田川樋門の設置　【秋田県】

・洪水時に、猿田川から古川への水の流れを止めるため、排水樋門を設置します。



■事業内容：排水樋門設置
■事業期間：令和5年度～令和7年度
■施行地　：秋田市牛島西

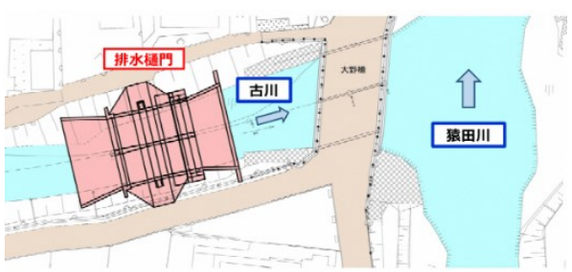
猿田川浸水状況

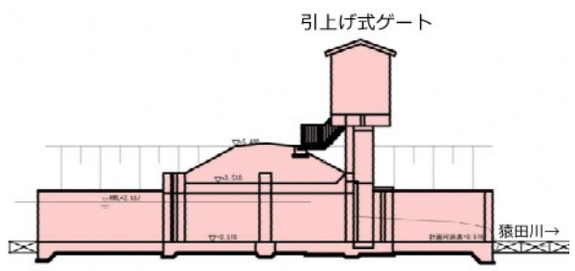


猿田川浸水状況



排水樋門一般図





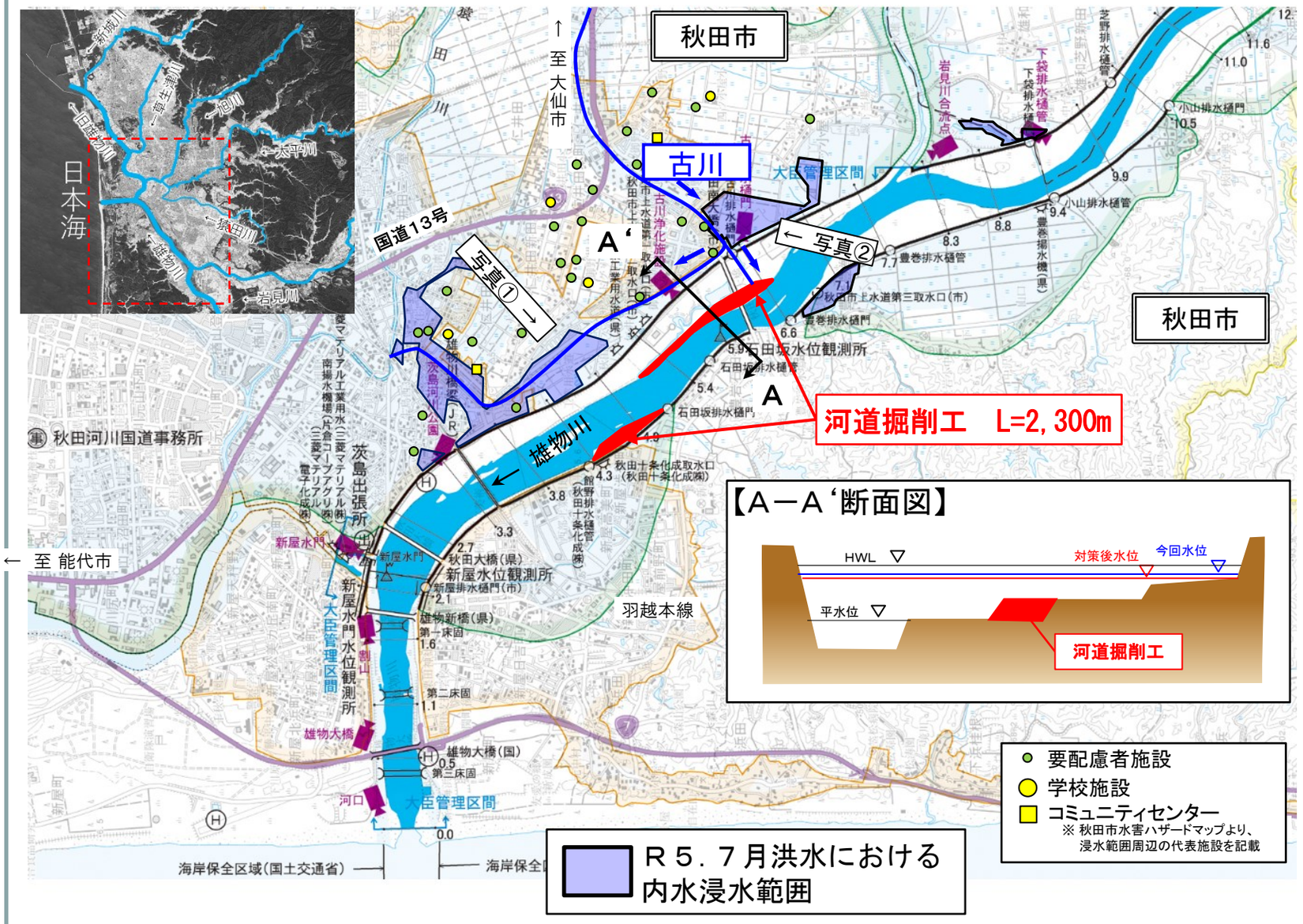
具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雄物川下流圏域
水災害対策プロジェクト

9. 雄物川の河川改修　【国土交通省】

・延長2.3km（秋田南大橋下流付近）において、川の中の土砂を除去して洪水時の水位を低下させます。なお、掘り出された土砂は周辺の事業で有効活用する予定です。



■事業内容：河道掘削
■事業期間：令和5年度
■事業費　：13．3億円
（防災・減災対策等強化事業推進費）
■施行地　：秋田市仁井田ほか





具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

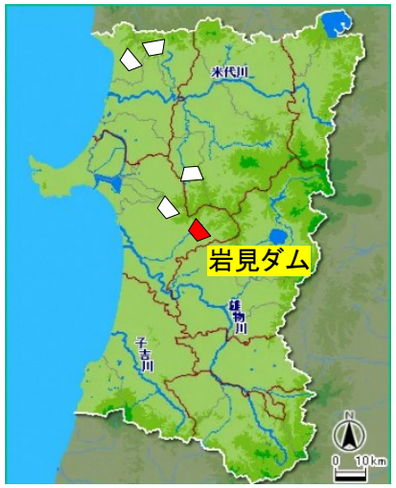
雄物川下流圏域
水災害対策プロジェクト

11. 岩見ダム事前放流　【秋田県】

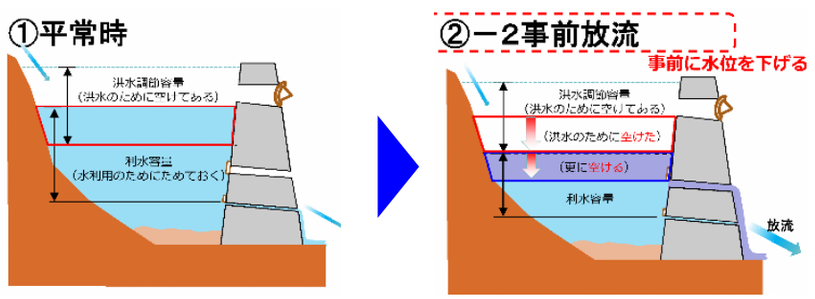
・大雨が降る前にダムの貯水位を下げ、豪雨時に洪水調節容量を最大限活用することで、岩見川下流の水位低減に努めます。

■事業内容:岩見ダム事前放流
■事業期間:令和5年度～
■施行地　:秋田市川辺岩見三内

位置図



事前放流イメージ

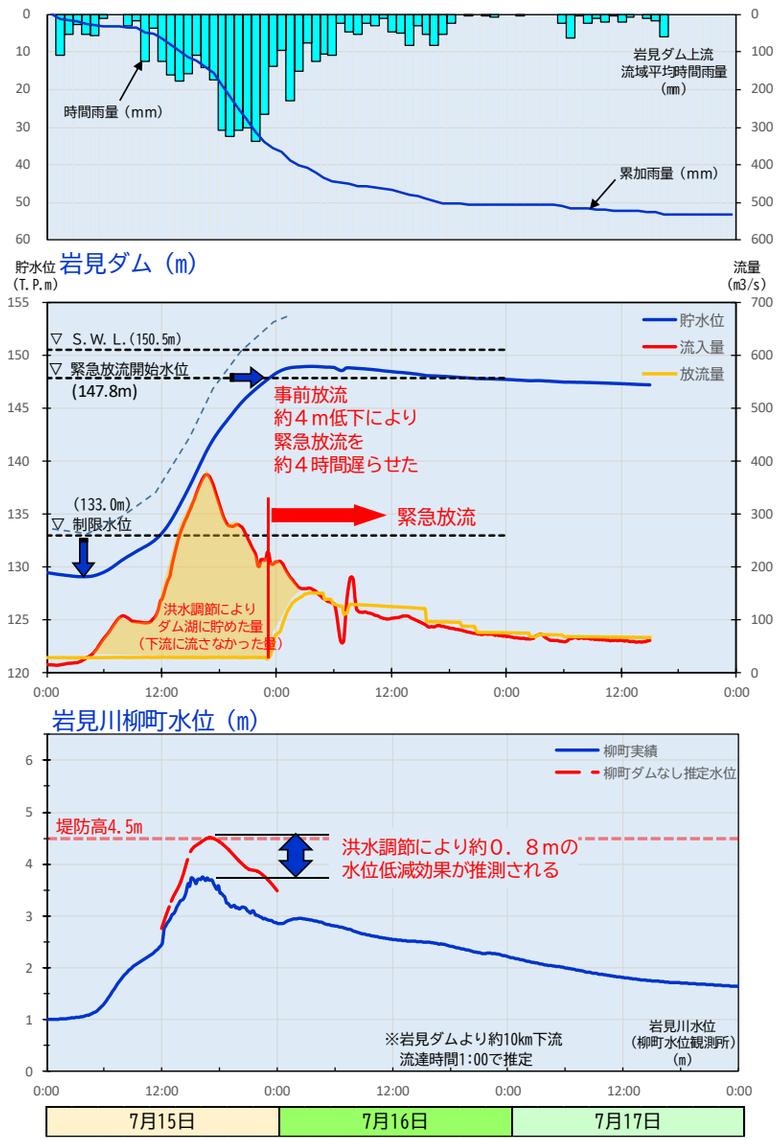


7月15～16日の豪雨における岩見ダムの洪水調節効果

○予測降雨総量で検討した結果、洪水調節容量では不足する結果となったため事前放流を実施し、最大限容量を確保。
（＊夏期制限水位133.0m→129.13m【約4m低下】まで実施）

○結果、降雨が落ち着いてからの緊急放流の移行となり下流水位への影響は最小限となった。

○最大流入時（降雨ピーク時）に下流への放流量の低減に努め、下流水位（柳町）の0．8m低減に繋がったと推測。





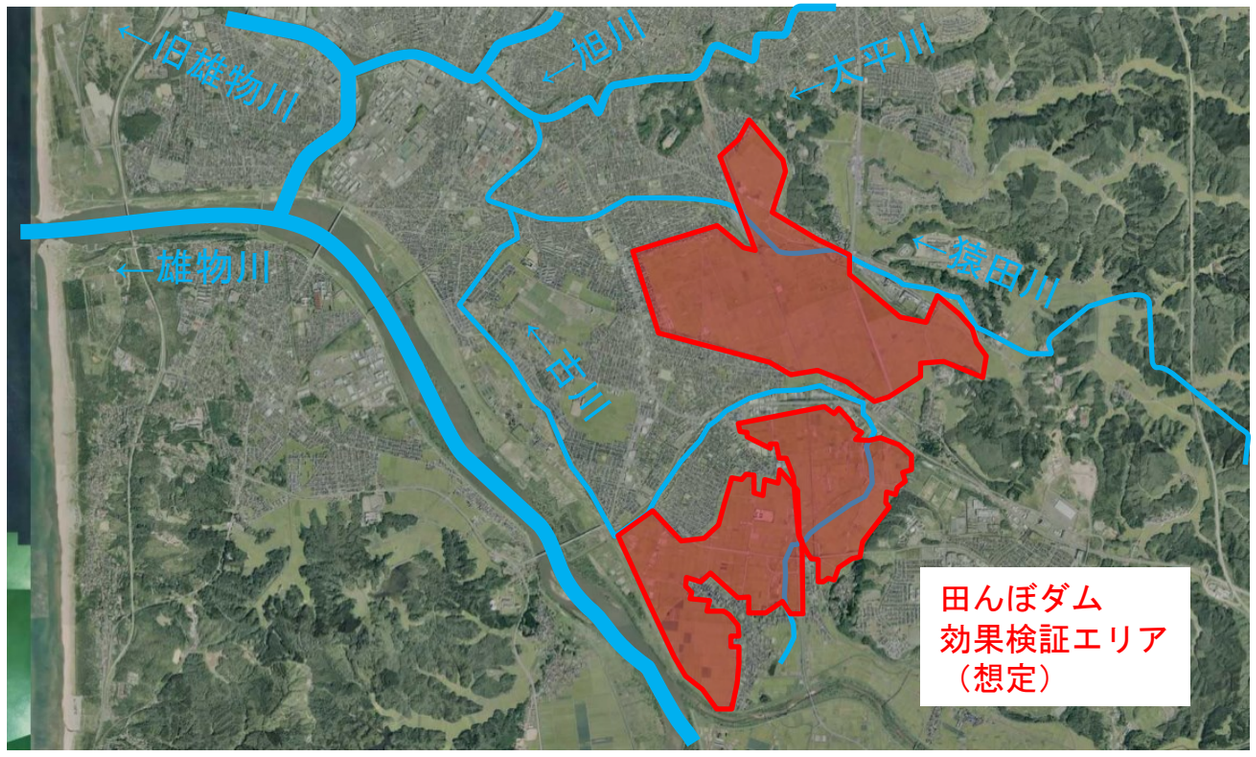
岩見川柳町水位観測局水位状況

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

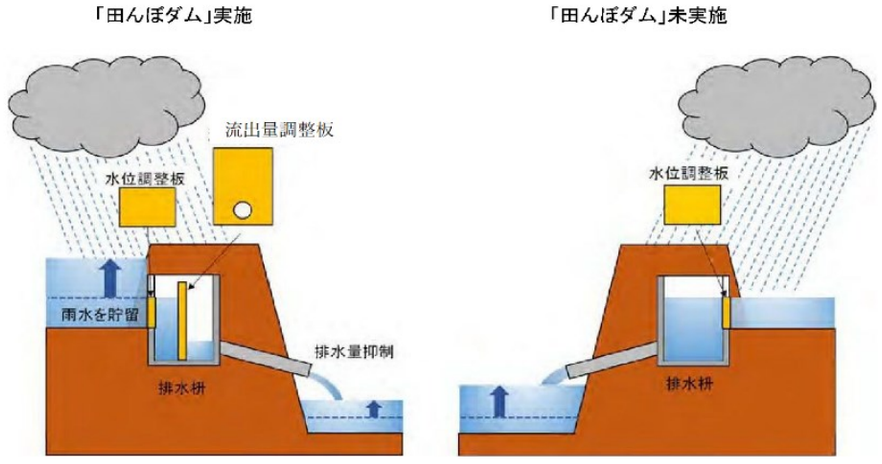
12. 田んぼダムの効果検証　【秋田県】

・当該流域内で現在ほ場整備事業を実施中・計画中の地区を含むエリア（A=約64ha）において、雨水貯留の効果について、技術的な知見やデータなどの協力を得ながら検証します。
また、検証結果を踏まえて、営農者の協力を得ながら田んぼダムの普及・拡大を促進します。



■事業内容：ほ場整備事業 四ツ小屋北地区ほか4地区
■事業期間：平成30年度～
■施行地　：秋田市仁井田、秋田市四ツ小屋

田んぼダムのイメージ（実施・未実施の比較）





田んぼダムに対応した田面排水枡・水位調整板のイメージ

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。



ほ場整備工事の状況

更新

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雄物川下流圏域
水災害対策プロジェクト

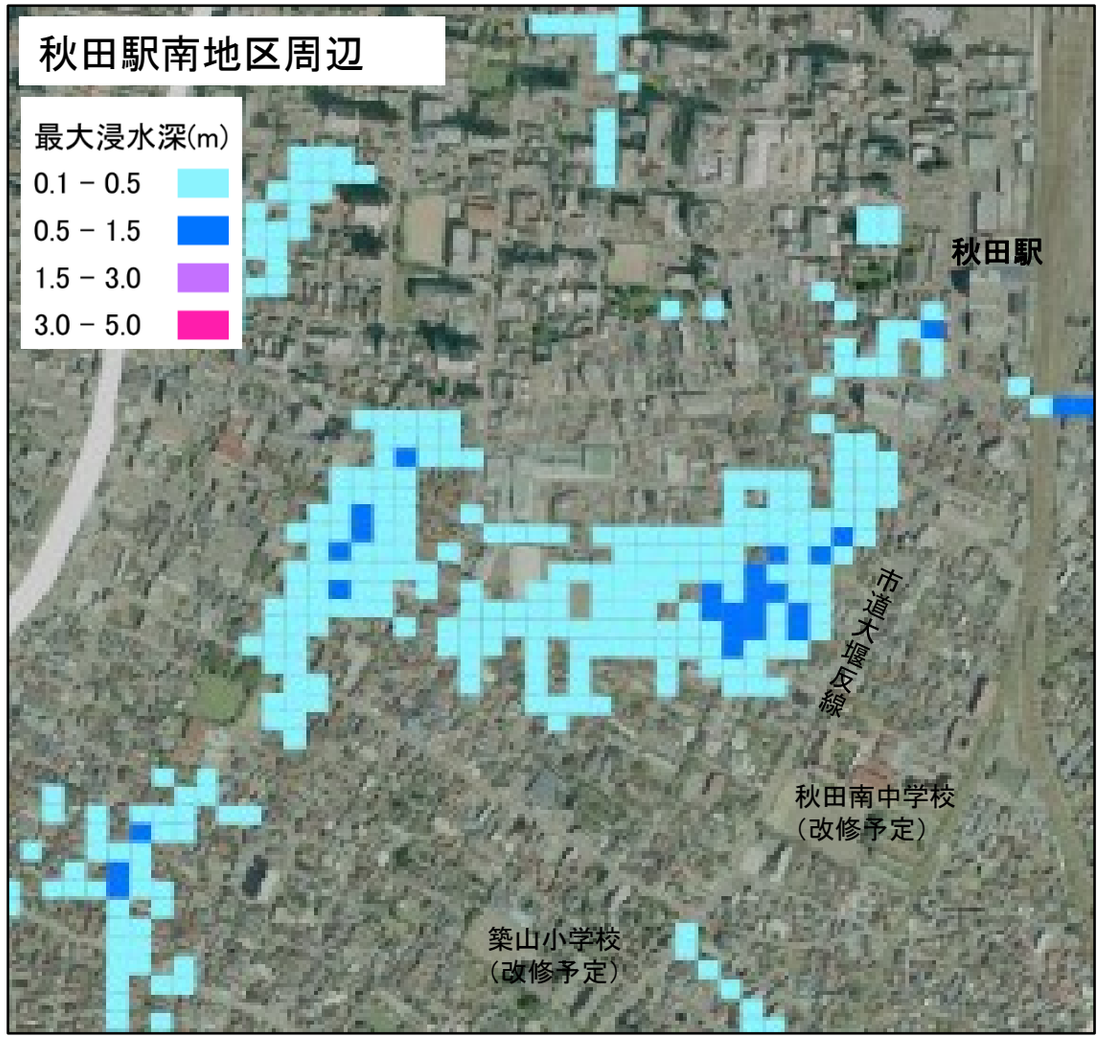
13. 公共施設等を活用した雨水貯留機能を有する施設の検討　【秋田市】

・令和5年7月梅雨前線による大雨で浸水被害が発生した箇所にある公共施設等において、施設の改修などに併せて、雨水貯留機能を有する施設を検討します。

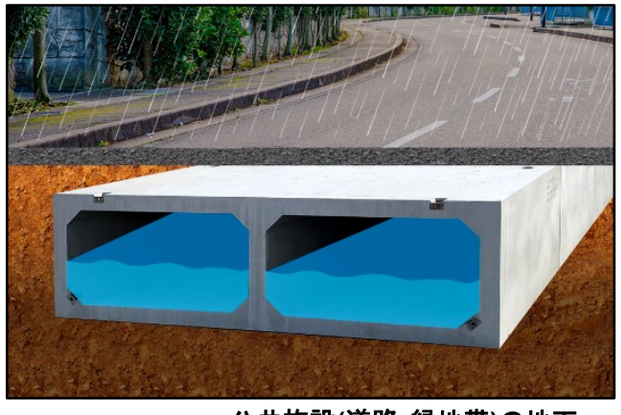
整備目的

太平川河川改修やフラップゲート、排水ポンプの整備後も、床上浸水被害（浸水深0.5m以上）が発生する地域の解消

■事業内容：公共施設等を活用した雨水貯留機能を有する施設の検討
■事業期間：令和5年度～
■施行地　：秋田駅東および駅南地区を想定

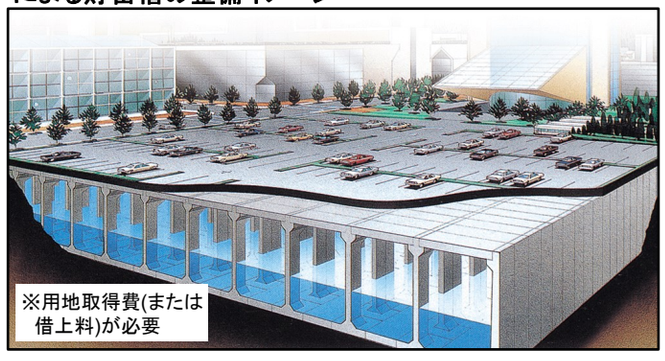


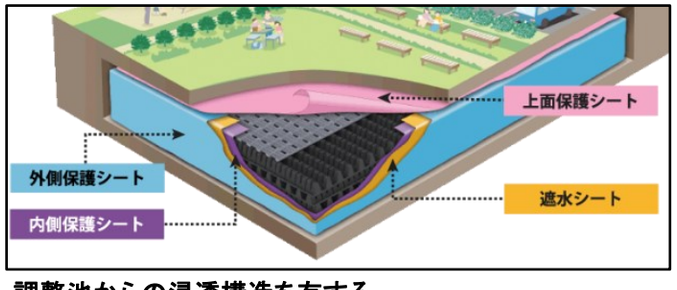
【 雨水貯留施設の例 】



公共施設(道路･緑地帯)の地下へプレキャスト製品による貯留槽整備のイメージ
※地下埋設物の移設が必要

駐車場地下へのコンクリートによる貯留槽の整備イメージ





調整池からの浸透構造を有するプラスチック貯留槽の整備イメージ
※調整池の維持管理が必要

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

更新

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雄物川下流圏域
水災害対策プロジェクト

14. 下水道の雨水幹線、排水ポンプ、フラップゲートの整備①　【秋田市】

・秋田駅西地区等において、浸水被害の軽減を図るため、氾濫量の約２割（約12,000㎥）を一時的に貯留する機能を備えた雨水幹線（管路）を整備します。

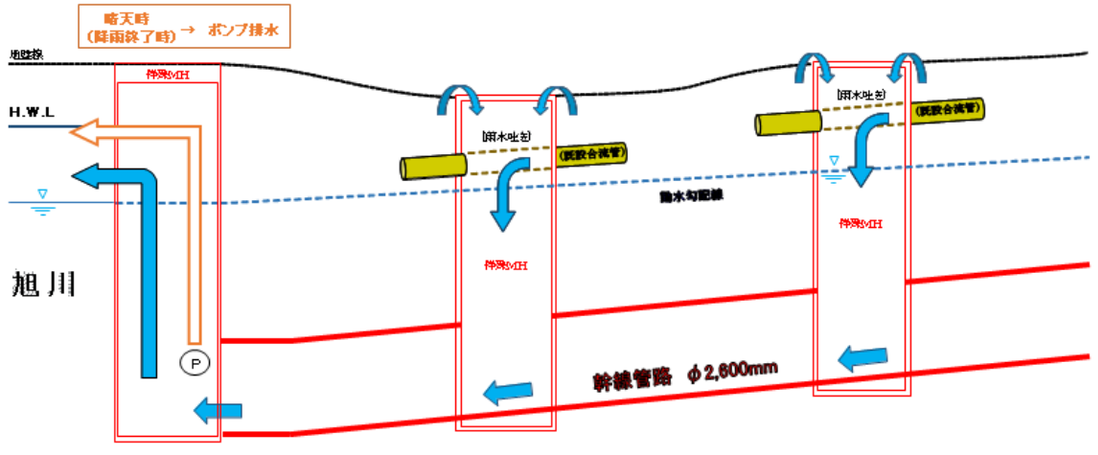
※事業の一部を内水被害等軽減対策計画に位置付け、治水対策の加速化を図ります。



具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

■事業内容：雨水幹線の整備
■事業期間：令和5年度～令和14年
■事業費　：90.0億円
※事業費については今後変更となる可能性があります。
■施行地　：中通、南通、楢山ほか
■整備規模：φ2,600㎜ L=2,100m 、φ600～1,350㎜ L＝1,100m
■整備効果：51㎜/時の降雨に対応可能
一時的な貯留機能（約12,000㎥※）を有する。
※降雨終了後、ポンプにより河川へ放流

整備イメージ



更新

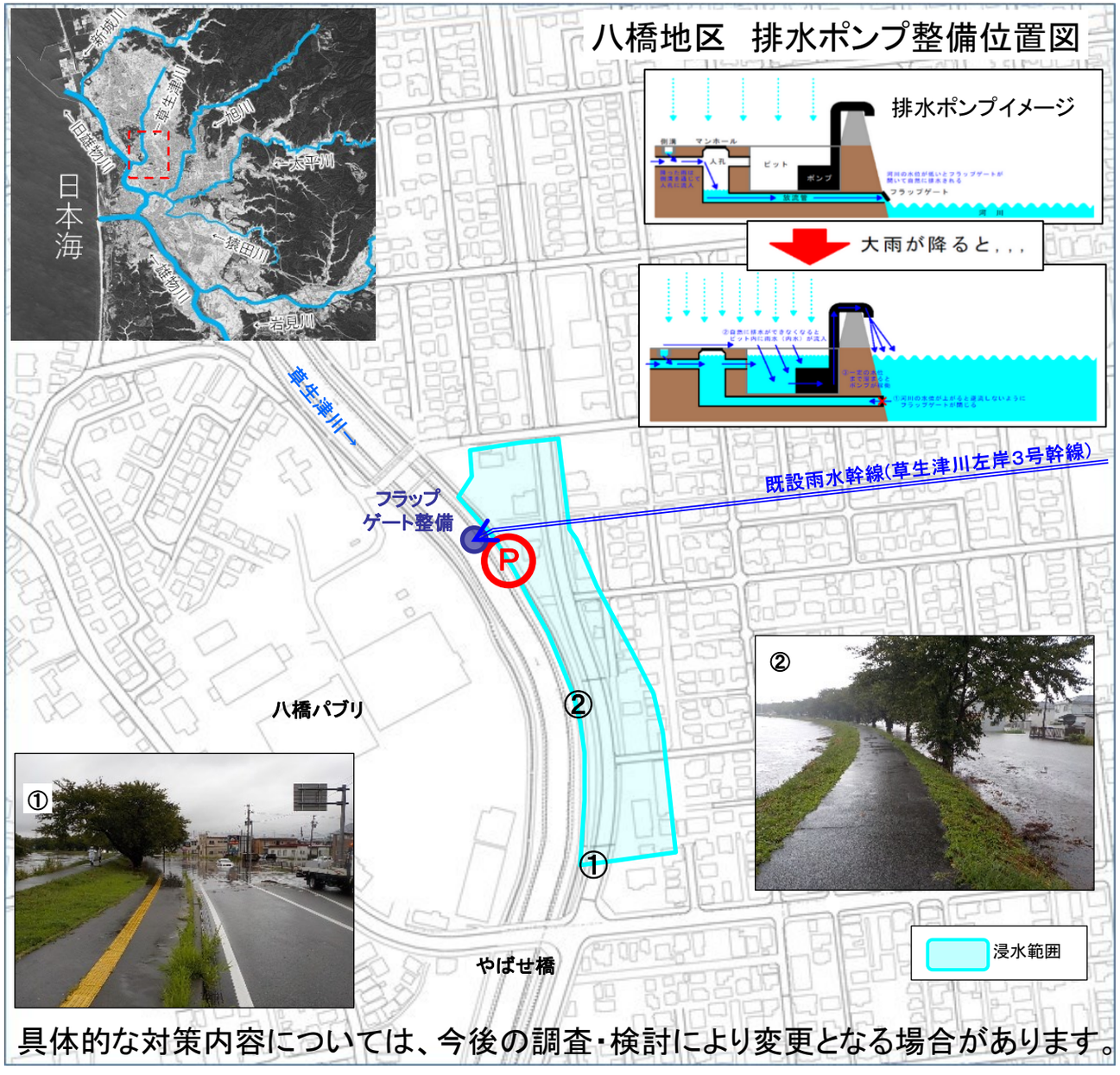
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雄物川下流圏域
水災害対策プロジェクト

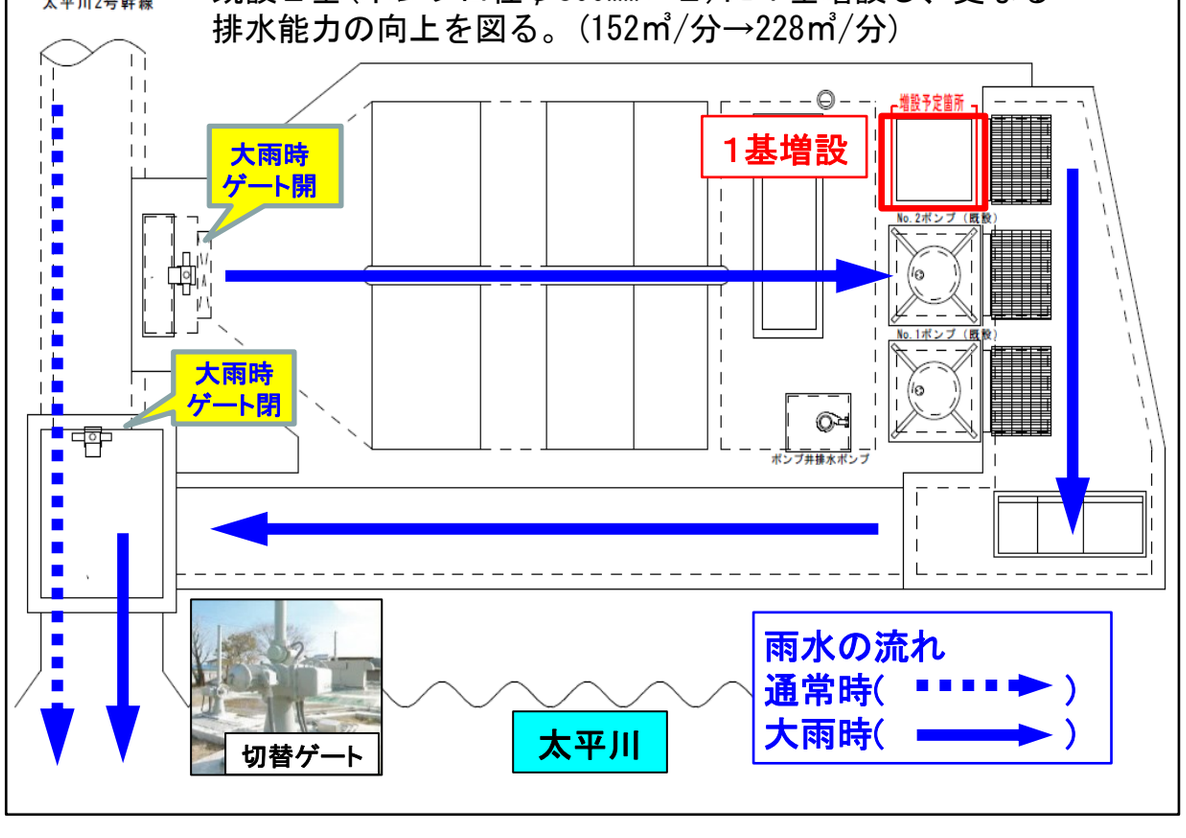
14. 下水道の雨水幹線、排水ポンプ、フラップゲートの整備②　【秋田市】

・八橋地区等において、強制的に河川へ排水するため、局所的に排水ポンプを新設し、家屋浸水被害の軽減を図ります。

※事業の一部を内水被害等軽減対策計画に位置付け、治水対策の加速化を図ります。



■事業内容：排水ポンプの整備
　　排水ポンプの新設、増設
■事業期間：令和5年度～令和14年度
■事業費　：8.0億円
■施行地　：八橋、手形、広面、明田、谷内佐渡ほか



具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

更新

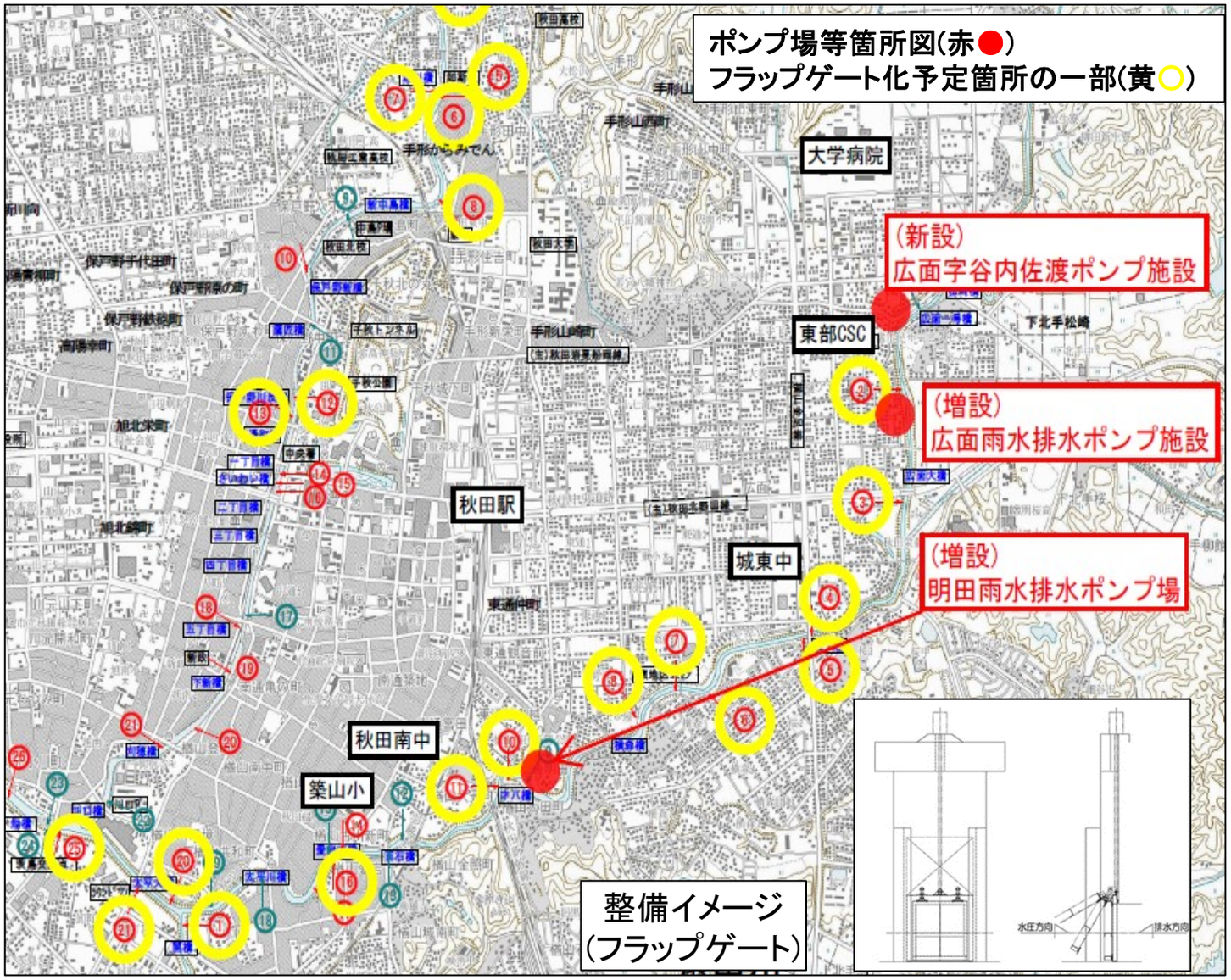
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雄物川下流圏域
水災害対策プロジェクト

14. 下水道の雨水幹線、排水ポンプ、フラップゲートの整備③　【秋田市】

・既設の雨水排水樋管33箇所にフラップゲートを整備し、河川からの逆流防止を図ります。

※事業の一部を内水被害等軽減対策計画に位置付け、治水対策の加速化を図ります。



■事業内容：フラップゲートの整備
■事業期間：令和5年度～令和14年度
■施行地　：ゲート33箇所
（太平川、草生津川、旭川、猿田川）
※太平川は県の河川改修に合わせて実施

排水樋管フラップ化イメージ（ゲート無し）


現状


整備後（フラップゲート設置）

排水樋管フラップ化イメージ（ゲート有り）


現状


整備後（フラップゲート設置）

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

更新

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雄物川下流圏域
水災害対策プロジェクト

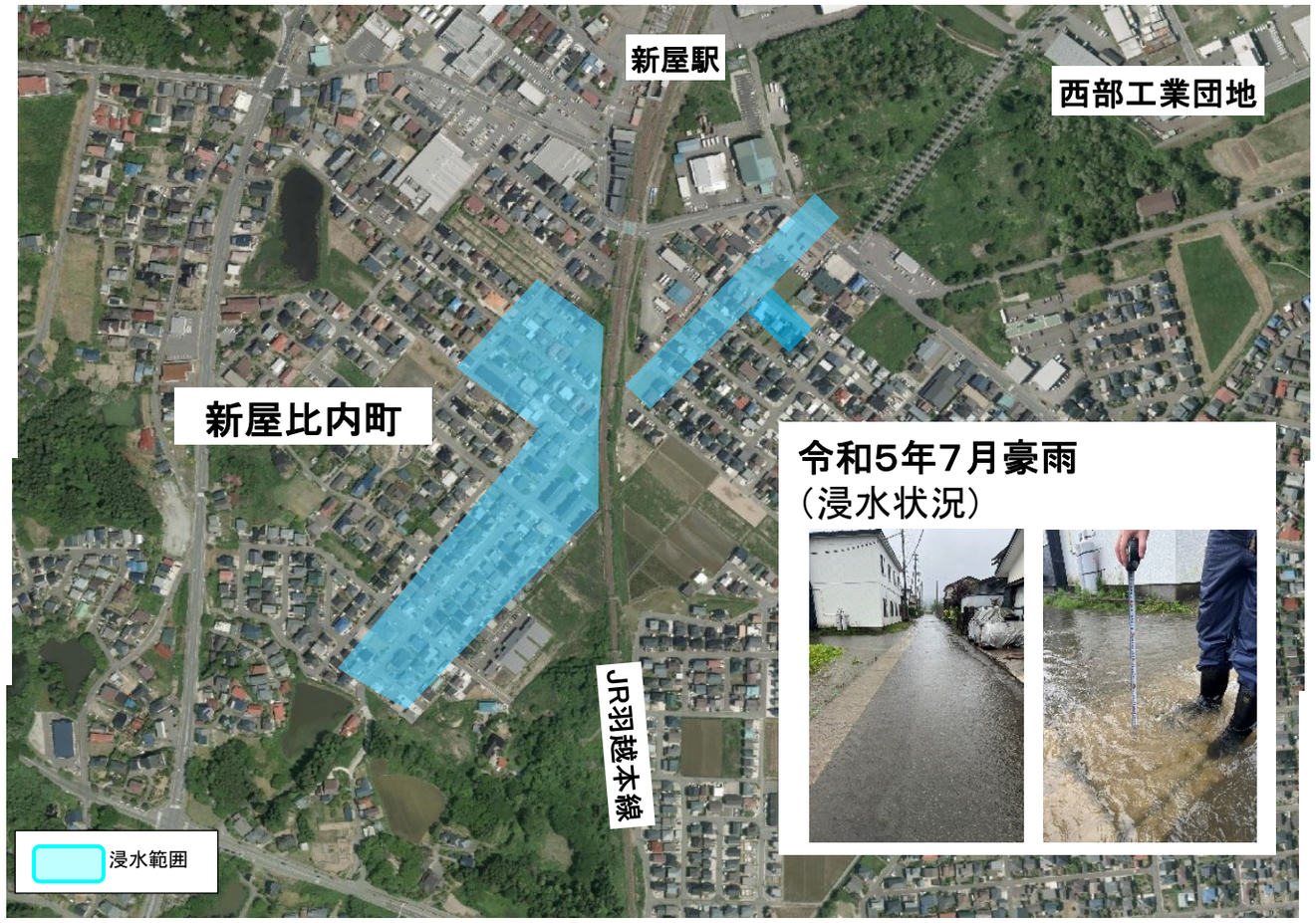
14. 下水道の雨水幹線、排水ポンプ、フラップゲートの整備④　【秋田市】

・卸町、新屋比内町地区等の浸水被害の軽減にむけて、排水ポンプ等のハード対策を進めます。

※事業の一部を内水被害等軽減対策計画に位置付け、治水対策の加速化を図ります。

■事業内容：雨水幹線、排水ポンプ等の整備
■事業進捗：浸水被害軽減計画の策定を令和8年度完了予定
■事業期間：令和5年度～令和14年度
■施行地　：卸町、新屋比内町地区ほか

◆対策の目標
令和5年7月と同規模の大雨が発生した場合においても、浸水深0.5m以上（床上浸水）の解消を図る。





具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

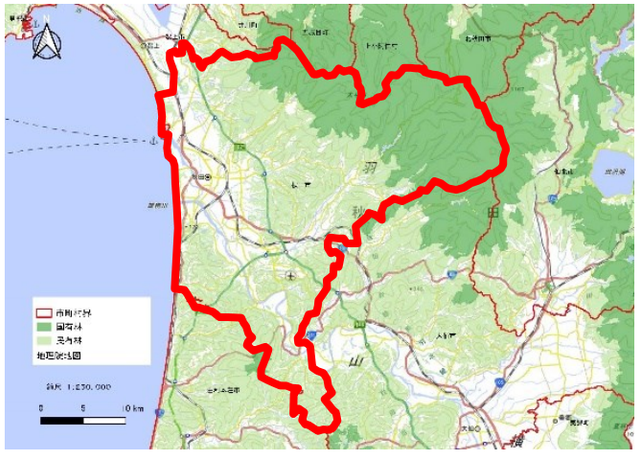
雄物川下流圏域
水災害対策プロジェクト

15. 森林の浸透、保水機能の発揮【林野庁・秋田県・秋田市・森林整備センター】

・造林、保育、間伐等の適切な森林整備を行うことで、森林の水源かん養機能の高度発揮を図り、下流域における洪水被害を減少させるための取組を実施します。

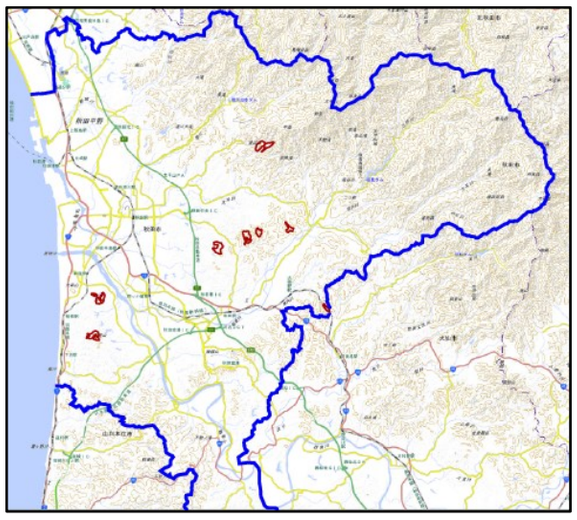
■事業内容：森林整備
■事業期間：令和5年～
■施　行　地：国有林：林野庁東北森林管理局
　　民有林：秋田県、秋田市、森林整備センター

国有林：東北森林管理局
民有林：秋田県、秋田市



国有林：図の太赤枠内緑色部分
民有林：図の太赤枠内薄緑色部分

民有林内の水源林造成事業地
（図の青枠内茶色部分）
整備機構森林整備センター



森林整備実施イメージ

【造林：植栽】





【保育：下刈】





【間伐】





16. 治山対策の推進　【林野庁・秋田県】

・治山対策の推進により森林の有する水源かん養や土砂災害防止などの公益的機能の高度発揮を図り、下流域における洪水被害や土砂災害を減少させるための取組を実施します。

■事業内容:渓間工・山腹工
■事業期間:令和5年～
■施　行　地:国有林:林野庁東北森林管理局
　　民有林:秋田県



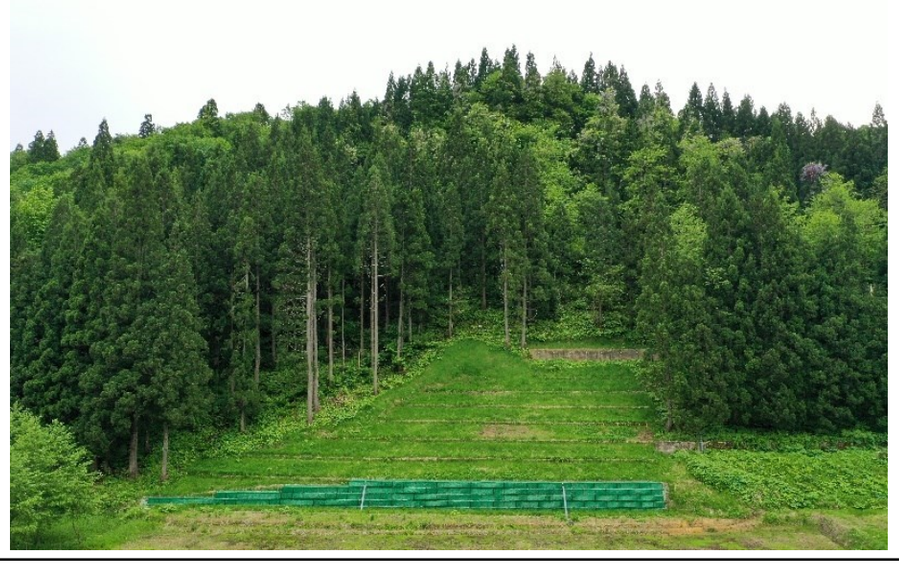
国有林:図の太赤枠内緑色部分
民有林:図の太赤枠内薄緑色部分

治山対策イメージ

【渓間工（治山ダム工、流路工）】



【山腹工】



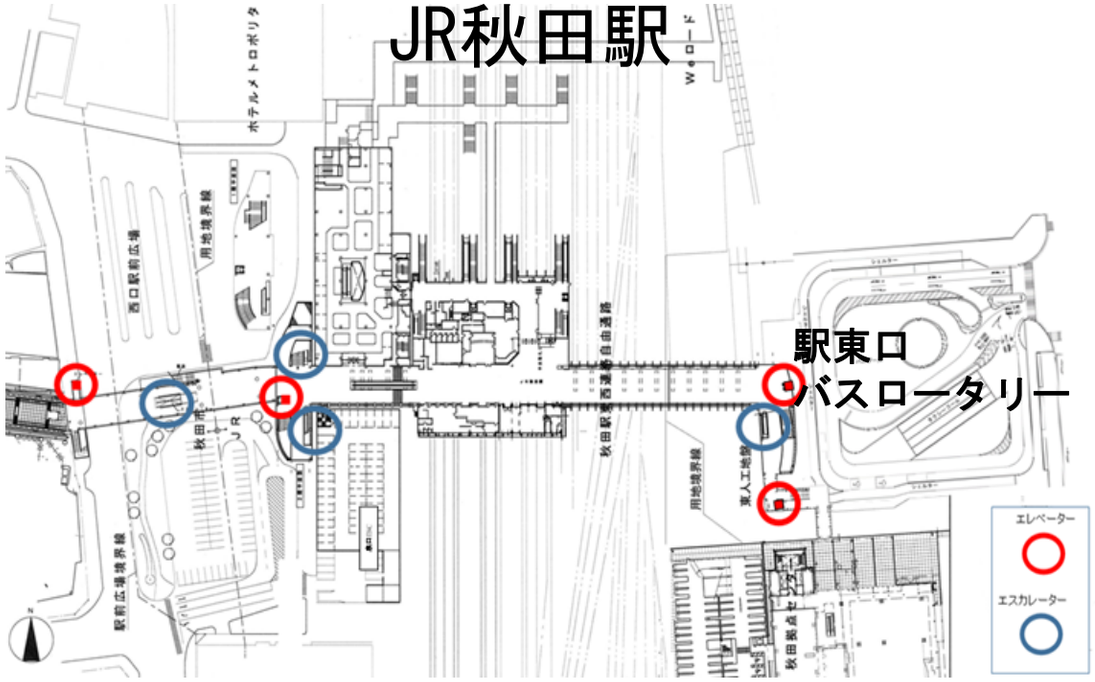
更新

被害対象を減少させるための対策

雄物川下流圏域
水災害対策プロジェクト

17. 公共施設の浸水対策の推進（エレベーター冠水時管制運転機能・止水板）【秋田市】

・令和5年7月梅雨前線による大雨では、秋田駅東口に接続する市民交流施設周辺において、大規模な浸水被害が発生したことから、エレベーター冠水時管制運転機能や止水板施設などの浸水対策を実施します。




冠水したＪＲ秋田駅東口周辺の道路

■事業内容：冠水時管制運転機能
■事業期間：令和5年度
■施行地　：秋田駅東西連絡自由通路


浸水したエレベーター

■事業内容：エレベーター止水板設置
■事業期間：令和5年度～令和7年度
■施行地　：秋田駅東西連絡自由通路


止水板のイメージ

被害対象を減少させるための対策

雄物川下流圏域
水災害対策プロジェクト

18. 学校施設の浸水対策の推進（受変電設備・空調室外機の浸水対策）【秋田市】

・秋田市学校施設長寿命化計画（五ヶ年計画は市HPで公表）に基づく受変電設備等の更新に合わせて、浸水対策等も考慮し、設備を屋内に移設したり、基礎の嵩上げを実施します。

周辺一体が浸水した城東中学校付近

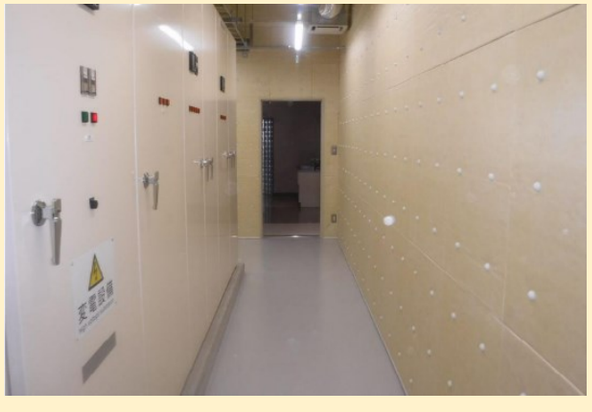


■事業内容：冠水時管制運転機能
■事業期間：施設更新時に随時実施
■施行地　：秋田市内小中学校

城東中学校の取組事例



屋外にあった受変電設備



屋内に電気室を設置

外旭川中学校の取組事例



空調設備の基礎嵩上げ

太平中学校の取組事例



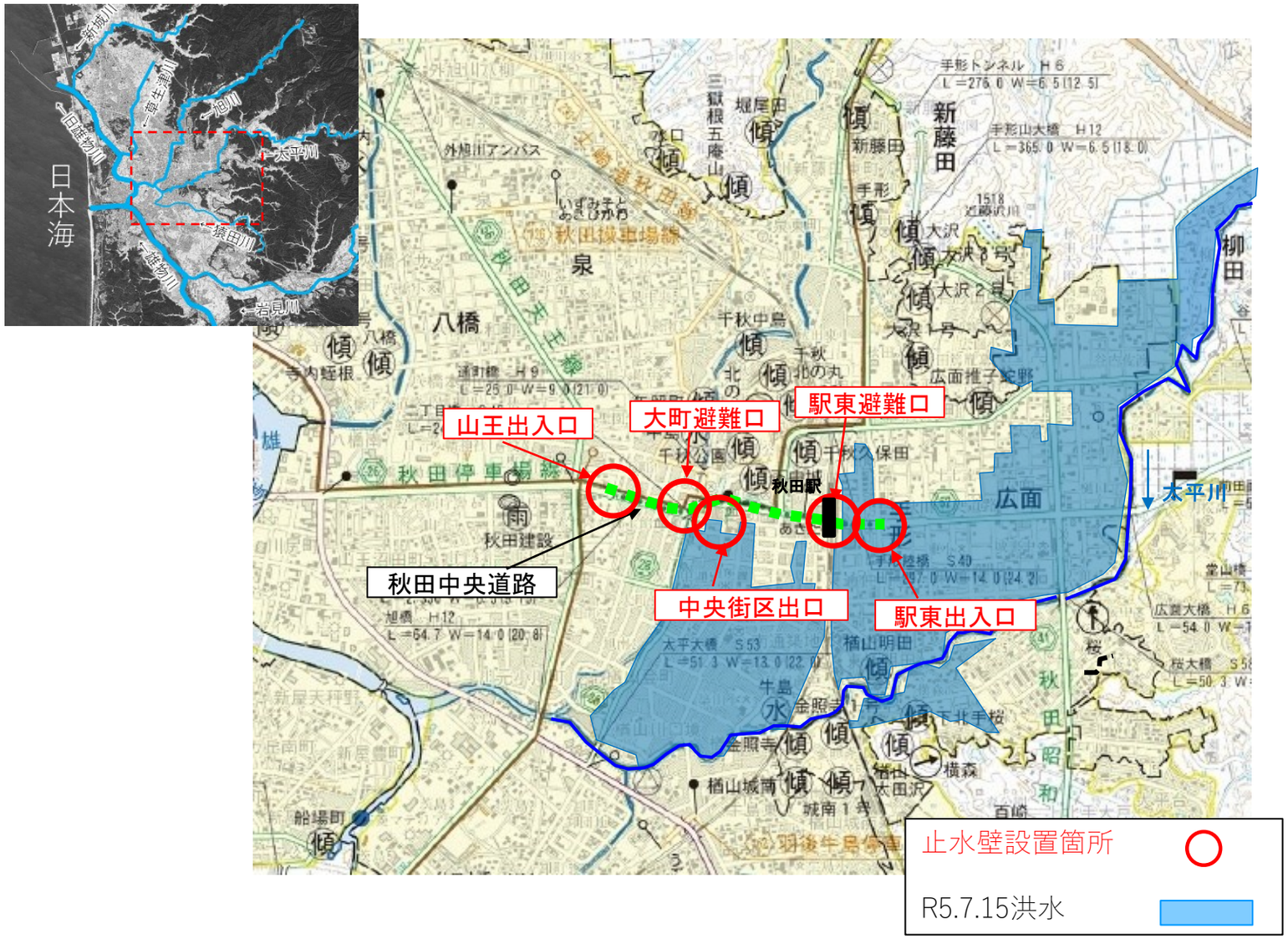
エアコン室外機を吊り下げ設置

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

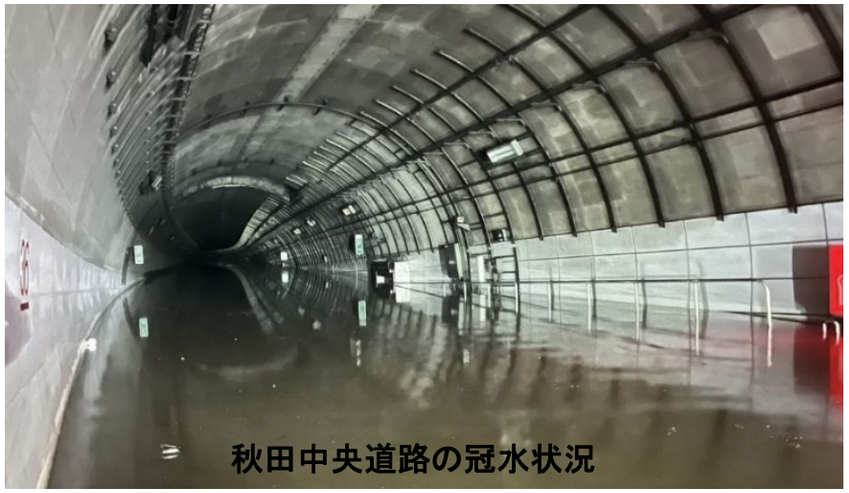
被害対象を減少させるための対策

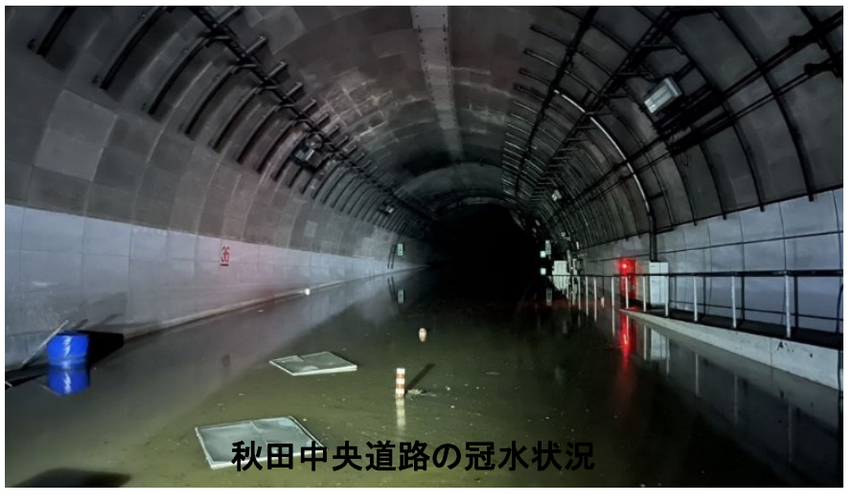
19. 秋田中央道路の浸水対策の実施【秋田県】

・自動車専用地下トンネル「秋田中央道路」の出入口及び避難口に、水の流入を防ぐ止水壁を設置します。



■事業内容：止水壁設置
■事業期間：令和5年度～令和7年度
■事業費　：約6億円
※事業期間、事業費については、今後変更となる場合があります
■施行地　：秋田市中通りほか


秋田中央道路の冠水状況


秋田中央道路の冠水状況

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

更新

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

雄物川下流圏域
水災害対策プロジェクト

20. 水害ハザードマップによる自宅リスクの周知に併せたマイタイムライン作成の普及（町内会や学校での講習会）【秋田市】

・気象情報・河川情報の入手方法を周知する
・屋内安全確保の考え方および家庭内備蓄の考え方を周知する
・内水浸水想定区域図の作成前倒しにより、水害ハザードマップへの取り込みを検討

※事業の一部を内水被害等軽減対策計画に位置付け、治水対策の加速化を図ります。

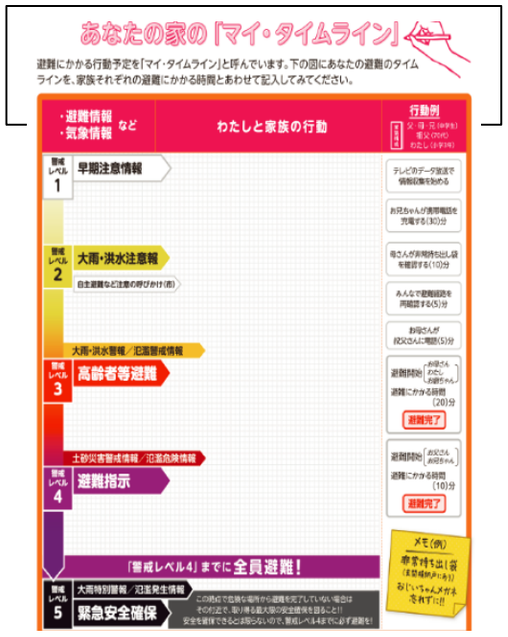


「秋田市水害ハザードマップ」
（令和8年度に更新予定）



「水害対策ガイドブック」

水害ハザードマップの別冊として令和４年４月　に全戸配布。避難に必要な情報の入手方法やマイタイムライン作成方法等を記載。



■事業内容：
水害ハザードマップを活用した防災講話の開催
■事業期間：令和5年度～
■事業費　：2．07億円
※事業費については今後変更となる可能性があります。
■施行地　：秋田市全域

水害ハザードマップ活用に関する
防災講話の開催



具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

21. 浸水センサー等を活用した安全・安心のまちづくりの推進　【秋田市】

・地区住民の安全・安心な生活を確保するために、道路冠水と河川氾濫状況の見える化を図り、住民に対して注意喚起や現況を的確に伝達するとともに、通行止めなど市の迅速な現地対応に繋げる有効な手段を構築し、防災・減災意識を向上させる。

■事業内容：センサー、警報ランプ、サイレン、
　　ネットワークカメラ、通信ユニット、量水標
■事業期間：令和3年度～令和7年度
■施行地　：秋田市大住ほか

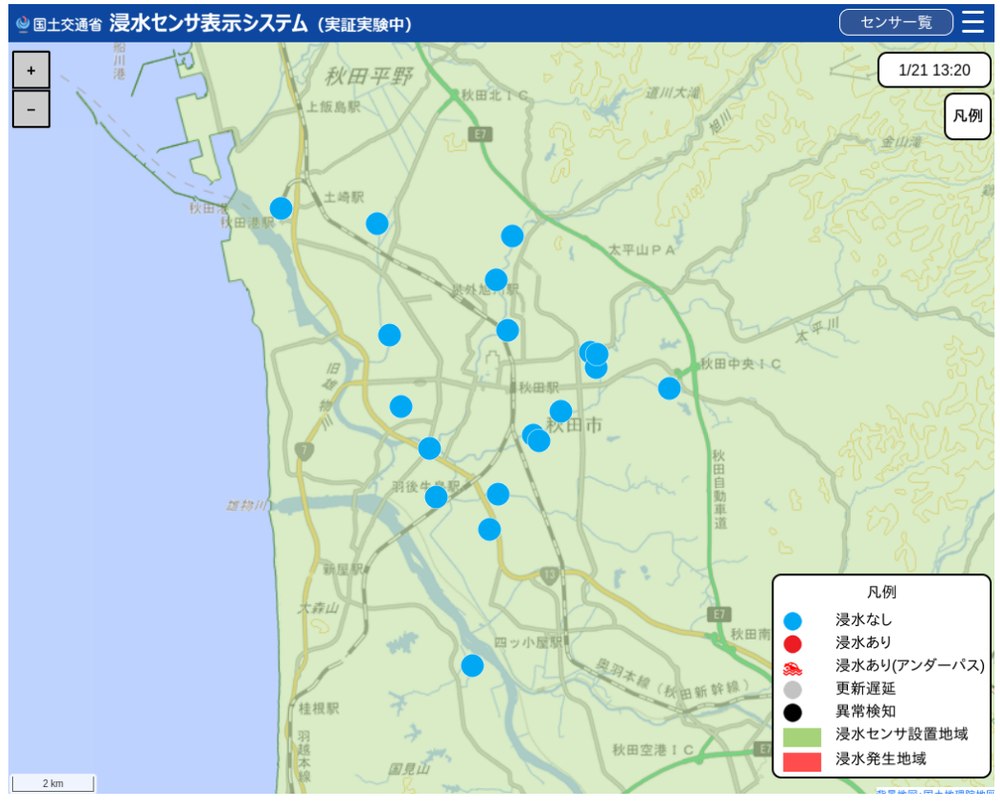
・国土交通省によるR6年度ワンコイン浸水センサ実証実験に参加。
浸水センサを令和5年7月豪雨災害の浸水被害箇所などにR6年度に20基、R7年度に10基設置。
・国土交通省のワンコイン浸水センサ表示システムがR6.11.14から一般公開開始。

○ワンコイン浸水センサー設置概要

・R5．7大雨による浸水被害のあった秋田市内各地区にR6年度20箇所、令和7年度10箇所設置



▲ワンコイン浸水センサ取付状況



浸水センサ表示システム画面

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

浸水センサ表示システムは以下WEBサイトで確認できます。
https://c-sensor.river.go.jp/

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

22. 河川防災ステーションの整備　【国土交通省・秋田市】

・雄物川下流域の洪水被害を最小限とするため、災害時の緊急復旧活動に使用する緊急用資材の備蓄、作業車両の駐車場、ヘリポート等の機能を備えた秋田地区河川防災ステーションを整備するとともに、秋田市が水防センターを設置し、災害時活動拠点施設を整備する。

■事業内容：盛土造成、緊急復旧用資材の備蓄（土砂、岩ズリ、根固めブロック等）、ヘリポート、水防センター
■事業期間：令和5年度　～　令和8年度
■施行地　：秋田市仁井田





秋田地区防災STの盛土はR6.7.25着手し、R7年度内に完了予定。

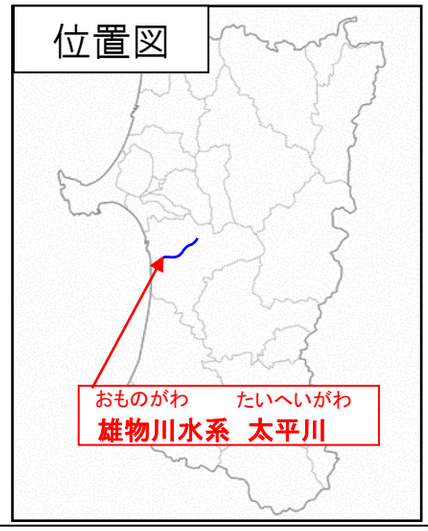


秋田地区河川防災ステーション盛土施工状況写真
（R6.11末現在）

太平川　内水被害等軽減対策計画

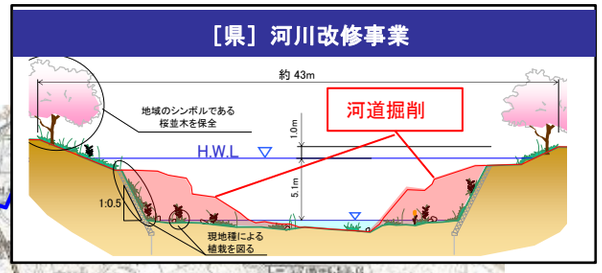
雄物川下流圏域
水災害対策プロジェクト

【計画の概要】
〇内水被害軽減の基本方針
　浸水被害の危険性が高い地域を集中的に整備
　緊急整備により、迅速に浸水被害を軽減
〇対象期間
　令和6年度～令和14年度
〇全体計画額
　約　428億円※（県：約360億、市：約68億）
〇特定都市河川に向けた見込み
　令和6年3月ロードマップ公表。ロードマップに基づき、特定都市河川指定に向けた検討を実施予定
※全体計画額については、今後変更となる可能性があります

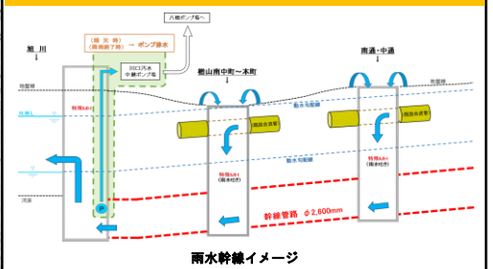


【取組の概要】





［市］下水道事業




排水ポンプ


フラップゲート設置

［市］古川・排水機場整備

古川排水樋門

［県］田んぼダム効果検証




田面排水枡・水位調整板

【主な取り組み内容】
〇河川対策　：太平川の河川改修（県：約360億）
〇下水道対策：雨水幹線、排水ポンプ、
　フラップゲートの整備（市：約66億）
〇ソフト対策　：内水浸水想定区域図作成（市：約2億）

〇流域対策　：①特定都市河川の指定
　②田んぼダムの効果検証
　③公共施設等を活用した雨水貯留
　　機能を有する施設の検討
　④公共施設等の浸水対策の推進　など

【推進体制】
雄物川圏域流域治水協議会下流圏域分科会

【取り組みの効果】
　令和5年7月と同規模の降雨に対して、
　概ね10年間で浸水面積の約8割を解消